

←ていねいに引っぱってください。別冊解答になります。

中学基礎がため100%

できた! 中2 英語

文法

別冊
解答と解説

○のあとの数字は、まとめのページの **チェック** の番号に対応しています。

KUMON

中1英語の復習テスト①

P.4・5

- 1 答 1 ウ 2 イ 3 ア
4 エ 5 イ

考え方 ① 1 [ou] 2 [e] 3 [ai]
4 [ɔ:] 5 [ɑ:r]

- 2 答 1 write 2 classes
3 his 4 lunch 5 old
6 running

考え方 ① 1 同じ発音。 2 複数形。
3 所有代名詞。 5 反意語。

- 3 答 1 studies, every
2 is swimming 3 can speak
4 Let's go 5 played, yesterday

考え方 ① 1 主語は3人称・単数。
2 swim はmを重ねる。
3 主語に関係なく〈can + 動詞の原形〉。

- 4 答 1 Did 2 Who 3 How old
4 What 5 When

考え方 ① 1 「あなたは窓を開けましたか」—「はい、開けました」 過去の疑問文。
2 「あなたの英語の先生はだれですか」—「川崎先生です」
3 「あなたのおじいさんは何歳ですか」—「ちょうど70歳です」
4 「あなたはどんなくだものが好きですか」—「私はリンゴとバナナが好きです」
5 「あなたの誕生日はいつですか」—「4月5日です」

- 5 答 1 Ken is writing a letter now.
2 These are interesting stories.
3 He did not [didn't] read the book yesterday.
4 How many stamps does Tom have?

考え方 ① 2 This → These, is → are, an は不要。
3 もとの文の read は過去形。
4 数をたずねる疑問文。

- 6 答 1 Kate is helping her mother in the kitchen.
2 Where do you study? — I study in this room.
3 What did he have in his hand(s)? — He had a book (in his hand(s)).

考え方 ① 3 did を使ったらあとの動詞は原形に。

中1英語の復習テスト②

P.6・7

- 1 答 1 イ 2 ア 3 エ
4 ウ 5 ウ

考え方 ① 1 [i] 2 [ə:r] 3 [e]
4 [s] 5 [d]

- 2 答 1 child 2 came 3 using
4 aunt 5 twelfth 6 month

考え方 ① 1 複数と単数。 2 原形と過去形。
3 原形と~ing形。 4 男性と女性。
5 基数と序数。 6 1月は「月」。

- 3 答 1 it, in 2 Don't use
3 am not 4 cannot [can't] write
5 The [Those], are

考え方 ① 1 寒暖を表す特別用法の it。
3 現在進行形の否定文。

- 4 答 1 What time 2 Which
3 Where 4 How
5 How much

考え方 ① 1 「あなたは何時に学校へ出かけますか」—「7時半に出かけます」
2 「どちらがあなたのTシャツですか」—「あの白いのが私のです」
3 「あなたたちは昨日どこで野球をしましたか」—「私たちは公園でしました」
4 「あなたはどうやって通学していますか」—「バス通学です」
5 「この辞書はいくらですか」—「ちょうど2,000円です」

- 5 答 1 They are [They're] science teachers.

2 Did Junko go to the movies yesterday?

3 What is [What's] Tom writing?

4 What day is (it) today? / What day of the week is (it) today?

考え方 ① 2 went は go の過去形。
4 曜日をたずねる文にする。

- 6 答 1 Can he play the piano? — No, he cannot [can't].

2 Who opens the window(s) every day? — I do.

3 I like her, but she does not[doesn't] like me.

- 考え方** ① 2 whoは3人称・単数扱いにする。
3 主格・目的格の形に注意する。

セクション **1-1 過去の文(1)①**

▶▶ ポイント確認ドリル P.9

- 1** **答** (1) visited (2) helped (3) got
(4) used (5) stopped (6) studied
(7) carried (8) wrote (9) lived
(10) dropped (11) went (12) put

- 考え方** ① (1)・(2) edをつけるだけ。
(6)・(7) yをiにかえてedをつける。
(4)・(9) dだけをつける。
(5)・(10) 最後の子音字を重ねる。
(3)・(8)・(11)・(12) 不規則動詞。

- 2** **答** (1) lived (2) likes (3) had
(4) yesterday (5) last night

- 考え方** ① 過去を表す副詞(句)があれば動詞を過去形に、動詞が過去形なら副詞(句)も過去を表すものを選ぶ。
(1) 「私は何年も前にこの市に住んでいました」
(2) 「私はネコが好きで、姉[妹]もネコが好きです」 前半が現在形なので、後半も現在形。
(3) 「彼女は昨年かわいい犬を2匹飼っていました」
(4) 「彼女は昨日野球の試合を見ました」
(5) 「私は昨夜9時ごろ母に電話をしました」

P.10・11

- 1** **答** (1) studied (2) dropped
(3) came (4) lived (5) said

- 考え方** ① (1) 過去形に。「私は昨日一生けんめいに英語と数学を勉強しました」
(2) 最後の子音字を重ねる。「私は先週貴重なカップ[茶碗]を落としました」
(3) comeの過去形はcame。「ケートは昨夜私の家に来ました」
(4) 過去形に。「私たちは昨年ニューヨークに住んでいました」
(5) sayの過去形はsaid。「私は昨日そ

れについて何も言いませんでした」

- 2** **答** (1) ○ (2) × (3) ○
(4) ×

- 考え方** ① (1) どちらも[t]。 (2) [id]と[d]。
(3) どちらも[id]。 (4) [id]と[t]。

- 3** **答** (1) 私は昨夜11時にドアと窓を閉めました。
(2) スミスさんは約20年前にこの物語を書きました。

- 4** **答** (1) went (2) saw
(3) studied (4) came
(5) read (6) did

- 考え方** ① (1) 「私は昨日市立図書館へ行きました」
(2) 「私は昨夜駅で健を見かけました」
(3) 「私は先週一生けんめい数学と理科を勉強しました」
(4) 「彼女は何日も前に私の家に来ました」
(5) 「私は昨年おもしろい本を読みました」 readの過去形は同じつづり。
(6) 「彼はこの前の日曜日に宿題をしました」 一般動詞doの過去形もdid。

- 5** **答** (1) I got up very early yesterday.
(2) She ate some fruit for lunch last Monday.
(3) Mr. Hara had a large house five years ago.
(4) He reads many interesting stories.

- 考え方** ① (1) getの過去形はgot。「私は昨日とても早く起きました」
(2) 特に強調する以外は、副詞(句)は文末に置く。eatの過去形はate。「彼女はこの前の月曜日に昼食にくだものを食べました」
(3) has[have]の過去形はhad。「原さんは5年前には大きな家がありました」
(4) 現在形で主語が3人称・単数なので、sがつく。「彼は多くのおもしろい物語を読みます」

- 6** **答** (1) We went to the zoo yesterday morning.
(2) I took a lot of pictures in Nara.

- 考え方** ① (1) 「昨日の午前中[朝]」はyesterday morning。

- 7** **答** (1) My aunt lived in Kyoto last year.

(2) My brother went to bed at ten (o'clock) yesterday.

考え方 ① (1) 「～に住む」は live in ～。
(2) go to bed の go を過去形にする。

セクション **1-2** 過去の文(1)②

▶▶▶ ポイント確認ドリル

P.13

1 **答** (1) did (2) didn't
(3) Did (4) study

考え方 ① 一般動詞の過去の否定文の基本形は〈did not [didn't] + 動詞の原形〉で、疑問文は〈Did + 主語 + 動詞の原形 ~?〉になる。

- (1) 「私はテニスをしませんでした」
- (2) 「私たちは皿を洗いませんでした」
- (3) 「彼女はお母さんを手伝いましたか」
- (4) 「彼は一生けんめい英語を勉強しましたか」

2 **答** (1) did (2) did (3) didn't
(4) Who (5) Where

考え方 ① (1) 「あなたは図書館に行きましたか」—「はい、行きました」
(2) 「あなたはその物語を読みましたか」—「いいえ、読みませんでした」
(3) 「あなたは野球をしましたか」—「いいえ、しませんでした」
(4) 「だれがドアを開けましたか」—「私が開けました」
(5) 「あなたはどこでその試合を見ましたか」—「東京ドームで見ました」

3 **答** (1) She didn't eat the orange.
(2) Did you live in America?

考え方 ① (1) didn't は動詞の前に置く。
(2) 動詞は原形を使う。

P.14・15

1 **答** (1) didn't [did not]
(2) didn't [did not] (3) come
(4) do

考え方 ① (1) 「私は昨年納豆が好きではありませんでした」
(2) 「彼は先週その手紙を書きませんでした」
(3) 「彼女は2020年に日本に来ませんでした」 didn't のあとには原形。

(4) 「健は昨日宿題をしませんでした」
「する」の意味の動詞の原形は do。

2 **答** (1) Did / No (2) did / got
(3) What / played (4) did
(5) Which / ate

考え方 ① (1) 「あなたはそのお金を受け取ったのですか」—「いいえ、受け取りませんでした」
(2) 「今朝遅く起きたのですか」—「はい、そうです。今日は9時に起きました」
(3) 「あなたは今日何をしましたか」—「サッカーと野球をしました」
(4) 「だれがその犬小屋を作りましたか」—「私の兄[弟]です」
(5) 「トムはどちらのリンゴを食べたのですか」—「大きいのを食べました」

3 **答** (1) エ (2) ア (3) イ (4) ウ

考え方 ① (1) 「いつその試合を見ましたか」—「昨日見ました」
(2) 「昨日その試合を見ましたか」—「はい、見ました」
(3) 「どこでその試合を見ましたか」—「公園で見ました」
(4) 「何人の少年がその試合を見ましたか」—「50人ほどの少年が見ました」

4 **答** (1) He did not [didn't] write the short message.
(2) I did not [didn't] have any books about your country.
(3) Did the girl make this cute doll?
(4) Who went to London last year?

考え方 ① (1) 「彼はその短い伝言を書きませんでした」 did not [didn't] のあとに原形。
(2) 「私はあなたの国についての本を1冊も持っていませんでした」 some は否定文では any に。
(3) 「その少女がこのかわいい人形を作ったのですか」 Did で始める。
(4) 「だれが昨年ロンドンに行きましたか」 Who をそのまま主語として使う。

5 **答** (1) He didn't watch the program last night.
(2) What did you do in the park?

考え方 ① (2) What のあとは疑問文の語順。

6 ① (1) Tom did not[didn't] help his father this morning.

(2) Did you watch TV last night? — Yes, I did.

考え方 ① (1) help が動詞になる。
(2) 「(テレビを)見る」には watch。

セクション **2**-1 過去の文(2)①

▶▶ ポイント確認ドリル P.17

1 ① (1) was (2) were (3) is
(4) were (5) was

考え方 ① 副詞(句)に注意して現在形か過去形かを決める。is, am → was, are → were。

2 ① (1) not (2) was (3) Were
(4) Was

考え方 ① 現在形でも過去形でも、be 動詞のある文の否定文は be 動詞のあとに not を入れ、疑問文は be 動詞を主語の前に出す。

3 ① (1) was (2) Was (3) were
(4) Is / is

考え方 ① (1) 「あなたは昨日ひまでしたか」—「はい、ひまでした」
(2) 「そのとき彼女は部屋にいましたか」—「はい、いました」
(3) 「あなたたちは昨年高校生でしたか」—「はい、そうです」
(4) 「彼女はあなたたちの新しい英語の先生ですか」—「いいえ、ちがいます。私たちの新しい音楽の先生です」 No, she isn't. の下線部に注目する。

P.18・19

1 ① (1) were (2) was not[wasn't]
(3) weren't[were not]
(4) didn't[did not]

考え方 ① (1) 主語は複数で were になる。
(2) not は was のあとにくる。
(3) 主語は We なので be 動詞は were。
(4) do は一般動詞。

2 ① (1) Was / was (2) Were / weren't
(3) many (4) was in
(5) What / were

考え方 ① (1) 「昨日沖縄では暑かったですか」—「はい、暑かったです」

(2) 「彼らは昨日あなたに親切でしたか」—「いいえ、そうではありませんでした」
(3) 「その部屋に何人の生徒がいましたか」—「約10人いました」
(4) 「先月あなたは名古屋にいましたか大阪にいましたか」—「大阪にいました」
(5) 「数分前に箱の中には何が入っていましたか」—「よくはわかりませんが、数時間前には大きなリングが数こ入っていました」

3 ① (1) エ (2) ア (3) ウ
(4) イ

考え方 ① ア 「はい、いました」
イ 「5年前にそこにいました」
ウ 「彼女の兄(弟)さんがいました」
エ 「自分の部屋にいました」

4 ① (1) Tom was not[wasn't] in London last week.

(2) They were not[weren't] kind to us yesterday.

(3) Were Kate and Helen your friends?
(4) Where was Tim an hour ago?

考え方 ① (1) 「トムは先週ロンドンにいませんでした」
(2) 「彼らは昨日私たちに親切ではありませんでした」
(3) 「ケートとヘレンはあなたの友だちでしたか」
(4) 「ティムは1時間前にはどこにいましたか」

5 ① (1) Was it very warm yesterday?
(2) I was not eleven years old last year.

考え方 ① (1) 「昨日はとても暖かったですか」
(2) 「私は昨年11歳ではありませんでした」

6 ① (1) Were you in Hiroshima last month? — Yes, I was.

(2) He was not[wasn't] a teacher five years ago.

考え方 ① (1) You were in Hiroshima を疑問文にしたもの。

セクション **2-2** 過去の文(2)②

▶▶ ポイント確認ドリル P.21

- 1** 答 (1) studying (2) making
(3) were (4) were (5) were

考え方① いずれも過去進行形の文。
(3) people(人々)は形は単数形でも複数形として扱う。

- 2** 答 (1) not (2) wasn't
(3) Was (4) singing

考え方① (1) be 動詞のあとに not。
(2) was not の短縮形を使う。
(3)・(4) be 動詞を主語の前に出す。

- 3** 答 (1) I was not reading the book.
(2) Were you reading the book?

考え方① (1) <(be 動詞+not+~ing)>の語順。
(2) be 動詞を主語の前に出す。

P.22・23

- 1** 答 (1) were (2) wasn't[was not]
(3) I was (4) were

考え方① (3) I was の短縮形はない。
(4) children は child の複数形。

- 2** 答 (1) Were (2) wasn't
(3) was walking (4) What / was
(5) Which[What] / reading

考え方① (1) 「あなたはそのとき手紙を書いていたのですか」—「はい、そうです」
(2) 「あなたのお兄[弟]さんは物語を読んでいましたか」—「いいえ、読んでいませんでした」
(3) 「彼女はそのとき公園で歩いていましたか、走っていましたか」—「歩いていました。そのとき走ってはいませんでした」
(4) 「あなたはそのとき何を勉強していましたか」—「英語を勉強していました」
(5) 「今朝どちらの[何の]本を読みましたか」—「この英語の本を読んでいました」

- 3** 答 (1) イ (2) ア (3) ウ (4) エ

考え方① 質問の意味は次の通り。
(1) 「あなたのお姉[妹]さんは台所で料理をしていましたか」
(2) 「あなたのお姉[妹]さんはそのとき

どこで料理をしていましたか」
(3) 「そのとき台所で料理をしていたのはだれですか」
(4) 「彼女はいつ台所で料理をしていましたか」

- 4** 答 (1) I was looking for my dictionary.
(2) He was not[wasn't] washing the car in the yard.
(3) Were Tom and Jim running in the park?
(4) What was Ken reading then?

考え方① (4) 「健はそのとき何を読んでいましたか」という文を作る。

- 5** 答 (1) I was taking some pictures in the park.
(2) What were you doing then?

- 6** 答 (1) I was not[wasn't] reading a[the] newspaper then[at that time].
(2) Where were you playing at eight (o'clock) this morning?

考え方① 時を表す副詞(句)は特に強調するとき以外は文末に置いて使う。

セクション **3-1** 比較の文①

▶▶ ポイント確認ドリル P.25

- 1** 答 (1) taller, tallest
(2) longer, longest
(3) smaller, smallest
(4) happier, happiest
(5) larger, largest
(6) bigger, biggest
(7) good (8) more

考え方① (7) better, best は形容詞 well(元気で)の比較級・最上級にも使われる。

- 2** 答 (1) old (2) shorter
(3) tallest (4) than (5) as
(6) of (7) in (8) as

考え方① (1) as と as の間には原級。
(2) than があるので比較級。
(3) the , of があるので最上級。
(4) longer が比較級なので than。
(5) <as+原級+as>の文。
(6) five cities は複数を表すので of。

- (7) Japan は場所・範囲を表すので in。
 (8) 〈as+原級+as〉の否定文。

P.26・27

- 1** 答 (1) bigger (2) easier
 (3) much (4) in

考え方 (1) than があるので比較級。
 (2) easy の比較級・最上級は easier, easiest。原級の最後が〈子音字+y〉。
 (3) 比較級を強める副詞は much。
 (4) the world(世界)には in を使う。

- 2** 答 (1) taller (2) tall (3) shortest
 (4) shorter (5) tallest

- 3** 答 (1) as old (2) tall as
 (3) shorter (4) not, old
 (5) the highest

考え方 (1) 「亜紀13歳。淳も13歳」→「亜紀は淳と同じ年齢です」
 (2) 「ボブは170センチ。ジムは180センチ」→「ボブはジムほど背が高くありません」
 (3) 「1月は2月より長い」→「2月は1月より短い」
 (4) 「明美は恵美より年上です」→「恵美は明美ほど年をとっていません」
 (5) 「富士山は日本のほかのどの山よりも高い」→「富士山は日本でいちばん高い山です」

- 4** 答 (1) Nancy is prettier than any other girl [the other girls] in her class. / No (other) girl in her class is prettier than Nancy.

- (2) Judy is younger than Helen. / Judy is not [isn't] as old as Helen.

考え方 (1) any other のあとには単数形が, the other のあとには複数形が続く。
 (2) もとの文の old の反意語は young。

- 5** 答 (1) bag is not as heavy as mine
 (2) box is much bigger than that one
 (3) the best speaker of English of

考え方 (1) as ~ as ... の否定文。
 (2) 比較級の強調には much を使う。
 (3) best は good の最上級。

- 6** 答 (1) This problem [question] is as difficult [hard] as that (one).

- (2) The sun is larger [bigger] than the moon.
 (3) This is the longest bridge in the world.

考え方 (2) large, big の比較級の形に注意。
 (3) 最上級の前の the を忘れないように。

セクション **3**-2 比較の文②

▶▶ ポイント確認ドリル P.29

- 1** 答 (1) faster, fastest
 (2) more famous, most famous
 (3) more beautiful, most beautiful
 (4) earlier, earliest
 (5) more interesting, most interesting
 (6) more popular, most popular
 (7) more slowly, most slowly
 (8) better

考え方 (8) well には副詞で「上手に」、形容詞で「元気で」の意味があるが、どちらも better, best と変化する。

- 2** 答 (1) faster (2) more (3) hard
 (4) most (5) earlier (6) better
 (7) best (8) more difficult

考え方 (1)・(2) than があるので比較級。
 (3) as と as の間には原級。
 (4) the, in があるので最上級。
 (5) early の比較級は earlier。
 (6) 副詞 well の比較級は better。
 (7) 副詞 well の最上級は best。
 (8) more, most で比較級, 最上級。

P.30・31

- 1** 答 (1) earliest (2) most
 (3) more (4) later

- 2** 答 (1) この問題はあの問題より重要です。
 (2) 純子はそのすべての生徒の中で最も上手に英語を話します。
 (3) この本はこの本屋で最も高価です。

考え方 (1) that one の one は problem のこと。

- 3** 答 (1) more popular
 (2) more difficult (3) more slowly
 (4) fast as (5) the earliest of

考え方 下の文の意味は次の通り。
 (1) 「ここでは野球はサッカーより人気

- があります」
- (2) 「あの本はこの本より難しい」
- (3) 「ボブは健よりゆっくり歩きました」
- (4) 「ジュディーはケートほど速く走りません」
- (5) 「トムはクラスのすべての少年の中で最も早くここに来ました」

- 4** 答 (1) You can run faster than Jim.
(2) Bob came here later than Tom.

考え方 ① (1) 「ジムはあなたほど速く走れない」→「あなたはジムより速く走れる」
(2) 「トムはボブより早くここに来た」→「ボブはトムより遅くここに来た」
比較の文でよく使われるまぎらわしい形容詞・副詞を整理しておこう：early (形 早い・副 早く) ⇔ late (形 遅い・副 遅く) / fast (形 速い) ⇔ slow (形 ゆっくりした) / fast (副 速く) ⇔ slowly (副 ゆっくりと)

- 5** 答 (1) is the most beautiful in the world
(2) speak English more slowly
(3) play the piano as well as Helen

考え方 ① (1) most の最上級の文。
(2) 比較級を命令文に使ったもの。

- 6** 答 (1) This book was more interesting than that one[book].
(2) My mother gets up (the) earliest in my family.
(3) I cannot[can't] cook as[so] well as you.

考え方 ① (1) 最後の one[book]はなくても正解。
(2) 副詞の最上級の the は省いてもよい。
(3) 最初の as の代わりに so でもよい。

セクション **3-3 比較の文③**

▶▶ ポイント確認ドリル

P.33

- 1** 答 (1) better (2) much
(3) the best (4) better
(5) the best (6) than

考え方 ① better, best は形容詞 good, 副詞 well の比較級・最上級と同じ形である。like とともに使われる better, best は副詞であるが、like ~ well という表現はない

ので、like ~ very much の very much の比較級・最上級と考えればよい。

- 2** 答 (1) better (2) best

考え方 ① (1) 「犬とネコではどちらが好きですか」
—「犬のほうが好きです」
(2) 「どの月がいちばん好きですか」—「5月がいちばん好きです。その月は休日が多いですから」

- 3** 答 (1) Who can dance better than you?
(2) I like Saturday better than Sunday.

考え方 ① (1) この文の better は副詞 well (上手に) の比較級。
(2) better than の前後の語句をまちがえないように。

P.34・35

- 1** 答 (1) better (2) of (3) best
(4) Which

考え方 ① (1) 「野球よりテニスが好きです」
(2) 「四季の中では冬がいちばん好きです」
(3) 「それらすべての中でこの絵がいちばん好きです」
(4) 「これとあれとでどちらのほうがより重要ですか」

- 2** 答 (1) Who, of (2) the best
(3) What, best (4) Who, most
(5) much better

考え方 ① (1) Who を主語として使う。
(3) 「何の」には What を使う。
(4) famous の最上級の文。
(5) 比較級の前には much を使う。

- 3** 答 (1) イ (2) ウ (3) エ (4) ア

考え方 ① (1) 「あなたと健とではどちらが速く走れますか」—「健です」
(2) 「テニスとサッカーではどちらが好きですか」—「サッカーです」
(3) 「鉄と金ではどちらがより有用ですか」—「鉄です」
(4) 「何色がいちばん好きですか」—「青がいちばん好きです」

- 4** 答 (1) Which picture does he like better?
(2) What sport(s) [Which sport / What] do you like the best?

考え方 ① (1) もとの文が this で限定されているので、Which を使う。

(2) 限定されていないので What を使うが、Which を使ってもよい。

5 **答** (1) you like dogs better than

(2) Who came to school the earliest

(3) subject do you like the best

考え方 ① (2) Who が主語の最上級の疑問文。

(3) What subject が like の目的語。

6 **答** (1) Did you like animals better than flowers?

(2) Who is [Who's] the tallest in your class? — Ken is.

(3) What is [What's] the largest [biggest] animal on the earth? — A whale is.

考え方 ① (2) Who を主語として使う。

(3) この文も What が主語。whale (クジラ) は数えられる名詞なので、その前に a を忘れないように。

まとめのテスト① P.36・37

1 **答** 1 イ 2 イ 3 ア
4 イ 5 ア

考え方 ① 1 be 動詞の過去の文。

2 一般動詞の過去の文。

3 過去進行形の文。

4 副詞 well (上手に) の最上級の文。

5 比較級の文。文末に than today を補うとわかりやすい。

2 **答** 1 ジェーンは英語を話していたのではありません。彼女はフランス語を話していたのです。

2 私の兄 [弟] は今朝家族の中でいちばん遅く起きました。

考え方 ① 1 過去進行形の否定文と肯定文。

2 副詞 late (遅く) の最上級の文。

3 **答** 1 Did 2 Were 3 Where
4 Which 5 What / best

考え方 ① 1 「あなたは昨日川で泳ぎましたか」—「いいえ、泳ぎませんでした」

2 「あなたは昨日の夕方忙しかったですか」—「はい、忙しかったです」

3 「あなたは今朝どこで勉強していましたか」—「自分の部屋で勉強していました」 場所を答えていることに注意。

4 「信濃川と利根川ではどちらのほうが長いですか」—「信濃川です」

5 「あなたは何のスポーツがいちばん好きですか」—「野球がいちばん好きです」 不特定なものから「何の～、どんな～」には what を使う。答えの the best は省略しない。

4 **答** 1 Did Helen have a pretty doll?

2 What were they doing in the park?

3 Mt. Fuji is the most beautiful mountain in Japan. [Mt. Fuji is the most beautiful of all the mountains in Japan.]

4 Kate is younger than Mary. [Kate is not [isn't] as [so] old as Mary.]

考え方 ① 1 一般動詞過去の疑問文。

2 playing tennis 全体に下線があるので、「公園で何をしていましたか」という文を作る。

3 beautiful は more, most で比較級・最上級を作る。

4 反対の意味を表す形容詞を使うか、as ~ as の否定文にする。

5 **答** 1 I like English better than any other subject.

2 I was much shorter three years ago.

考え方 ① 1 best が不要。

2 very が不要。比較級の前には much。

6 **答** 1 Who was swimming in the river? — Junko and Machiko were.

2 I cannot [can't] speak English as [so] well as Kumi, but (I) can speak it as well as Kazuo.

考え方 ① 1 答えが複数の主語でも、疑問詞の Who は 3 人称・単数扱いにする。

2 (not) as ~ as に副詞を使った文。

まとめのテスト② P.38・39

1 **答** 1 イ 2 ア 3 ア
4 イ 5 ア

- 考え方** ① 1 過去進行形なので then。
2 主語は 3 人称・単数で was。
3 tall は -er, -est 型。
4 all は複数を表すので of。
5 as と as の間には原級。

- 2** **答** 1 私は彼の名前を知りませんでした
が、彼は私の名前を知っていました。
2 ここからその景色がもっとよく見えます。

- 考え方** ① 1 一般動詞過去の否定文と肯定文。
2 better は well(よく)の比較級。この文の You は相手を含めた不特定の人をばくぜんと指している。日本語に訳さないことが多い。

- 3** **答** 1 wasn't 2 write 3 Who
4 Which / better 5 Is, than

- 考え方** ① 1 「彼は 3 年前大学生でしたか」—「いいえ、そうではありません」
2 「あなたがこの本を書いたのですか」—「いいえ、ちがいます。私が書いたのはあの本です」
3 「あなたとジェーンとではどちらが年上ですか」—「ジェーンです」 Which でもまちがいはないが、人について言う場合はふつう Who を使う。
4 「ユリとバラではどちらのほうが好きですか」—「バラのほうが好きです」
5 「この帽子はあの帽子よりも高いですか」—「はい、そうです」

- 4** **答** 1 Were his brothers very kind to you?
2 I did not [didn't] come here by bus.
3 Which flower does Jane like the best?
4 You can run faster than Jim.

- 考え方** ① 1 be 動詞を主語の前に出す。
2 <did not [didn't] + 動詞の原形> の形。
3 「どちらの花」の意味にする。
4 「ジムはあなたほど速く走れない」→「あなたはジムより速く走れる」

- 5** **答** 1 Did you sleep well last night?
2 She is the most popular singer in the world.

- 考え方** ① 1 were が不要。 2 more が不要。

- 6** **答** 1 I did not [didn't] have [eat] breakfast this morning.
2 Who went to bed (the) earliest in your family last night? — I did.

- 考え方** ① 1 一般動詞過去の否定文。
2 Who を主語として使う。go の過去形は went。

セクション **4** There is [are] ~. の文

▶▶ ポイント確認ドリル P.41

- 1** **答** (1) is (2) are (3) are
(4) is (5) is (6) are

- 考え方** ① 実質的な主語にあたるものが単数なら is を、複数なら are を使う。

- 2** **答** (1) not (2) are (3) Is
(4) there

- 考え方** ① (1)・(2) 否定文は be 動詞のあとに not。
(3)・(4) 疑問文は be 動詞を there の前。

- 3** **答** (1) テーブルの下に英語の本が (1 冊) あります。
(2) あなたの英語の本はテーブルの下にあります。

- 考え方** ① (1) だれのか知らないが、とにかく英語の本が 1 冊あることを表している。
(2) 特定のもの [人] がある場合は、ふつうそのあるもの [人] を be 動詞の前に置いて主語として使う。

P.42・43

- 1** **答** (1) under (2) on
(3) in (4) on

- 考え方** ① (1) 「~の下に」は under。
(2) 「~の上に」は on。
(3) 「~の中に」は in。
(4) 「(接して)~に」は on。on はこのように、上にかぎらず、接している状態であれば使うことができる。on the ceiling で「天井に」の意味になる。

- 2** **答** (1) are (2) was (3) aren't

- 考え方** ① (1) 「1 週間は 7 日あります」
(2) 「昨日学校でコンサートがありました」過去の文なので was。
(3) 「私たちの学校には外国人の生徒はひとりもいません」

3 答 (1) イ (2) エ (3) ア (4) ウ

考え方 ① (1) 現在の文。Yes, No で答える。
(2) 過去の文。Yes, No で答える。
(3) 数をたずねている。
(4) 「何」があるかをたずねている。

4 答 (1) There is not[There isn't / There's not] a college in my city.
(2) There were not[weren't] any pictures on the wall. [There were no pictures on the wall.]
(3) Are there any glasses on the table?
(4) How many koalas are there in the zoo?

考え方 ① (1) 「私の市には大学がありません」
There is not に短縮形を使った場合も確認しておこう。なお、There are not は There aren't, There're not のいずれかになる。つまり、There is, There are の短縮形は There's, There're になる。
(2) 「壁に1枚も絵はありませんでした」
否定文なので some を any に。no を名詞の前に使って表してもよい。
(3) 「テーブルの上にコップはありますか」
疑問文なので some を any に。
(4) 「その動物園にコアラは何頭いますか」
How many ~ のあとに there are の疑問文の語順を続ける。

5 答 (1) There was a church on the hill
(2) Are there many balls in the box?

6 答 (1) There are[There're] a lot of [many / lots of] beautiful temples in Kyoto.
(2) How many students are there in your school? — There are[There're] five hundred (students).

考え方 ① (1) Kyoto has a lot of beautiful temples. と同じ内容になる。
(2) How many のあとは名詞の複数形。

セクション 5-1 未来の文①

ポイント確認ドリル

P.45

1 答 (1) is (2) am (3) are
(4) are (5) are

考え方 ① be 動詞は主語に合わせて使い分ける。

2 答 (1) not (2) isn't (3) Are
(4) she

考え方 ① (1)・(2) 否定文は be 動詞のあとに not。
(2) は is not の短縮形になる。
(3)・(4) 疑問文は be 動詞を主語の前に。

3 答 (1) I am going to watch the game today.
(2) Are you going to swim in the river?

考え方 ① (1) to は動詞の原形の前。
(2) 疑問文になる。are は主語 you の前。

P.46・47

1 答 (1) write (2) be
(3) am not (4) Are you

考え方 ① (2) be 動詞の原形はどれも be になる。
(3) am のあとに not。

2 答 (1) 私はあなたの宿題を手伝うつもりはありません。
(2) 今日の午後雨が降りそうです。

考え方 ① (1) be going to の否定文。「~するつもりはない、~しないつもりだ」の意味。
(2) be going to はこのように、まわりの状況からみてほぼ確実なことについての予想を表すこともある。

3 答 (1) isn't / He's (2) Who

考え方 ① (1) それぞれ短縮形が入ることに注意。

4 答 (1) ウ (2) イ (3) エ (4) ア

考え方 ① (1) Yes, No で答える。
(2) 場所をたずねている。
(3) 交通手段をたずねている。
(4) Yes, No で答える。主語は it。

5 答 (1) Jane is going to wash her bike this afternoon.

(2) He is not[He isn't / He's not] going to talk about the novel.

(3) Are you going to meet him at the station?

(4) When is she going to see Ken?

考え方 ① (1) washes を原形の wash にもどす。
(2) 「彼はその小説について話すつもりはありません」
(3) 「あなたは駅で彼に会うつもりですか」
(4) 時をたずねるのは When。このあと

に be going to の疑問文の語順を続ける。

- 6** 答 (1) time are you going to get up
(2) I am not going to drive

考え方 ① (1) What time のあとは疑問文の語順。

- 7** 答 (1) I am [I'm] going to write (a letter) to her this afternoon.
(2) What are you going to do tomorrow?
— I am [I'm] going to study.

考え方 ① (1) write to ~ だけでも「～に手紙を書く」の意味になることを覚えておこう。
(2) What が do の目的語になる。この do は一般動詞で「～をする」の意味。

セクション 5-2 未来の文②

▶▶ ポイント確認ドリル P.49

- 1** 答 (1) go (2) will (3) stay
(4) be (5) will

考え方 ① 主語が3人称・単数でも、〈will+動詞の原形〉の形に変わりはない。will やそれに続く動詞に s や es がつくことはない。

- 2** 答 (1) not (2) won't (3) Will
(4) it

考え方 ① (1)・(2) 否定文は will のあとに not を入れる。(2)は短縮形の won't が入る。
(3)・(4) 疑問文は will を主語の前に出す。

- 3** 答 (1) I will buy the new book tomorrow.
(2) I will not be busy next Saturday.

考え方 ① (1) 〈主語+will+動詞の原形 ...〉。
(2) 〈主語+will not+動詞の原形 ...〉。

P.50・51

- 1** 答 (1) be (2) take
(3) will not[won't] (4) come

考え方 ① (1) be 動詞の原形は be。
(2) took は take の過去形。
(3) 否定文は will not[won't] のあとに動詞の原形。
(4) came は come の過去形。

- 2** 答 (1) あなたは来月何歳になりますか。
(2) 私は今日の放課後図書館に行くつもりはありません[行かないつもりです]。

考え方 ① (1) How old are you? を will の未来の疑問文にしたもの。
(2) 話者の意志を表すような訳文にする。

- 3** 答 (1) will (2) won't

考え方 ① be going to と will はほぼ同じと考えてよいが、まったく同じというわけではない。本文の51ページを参照しておこう。

- 4** 答 (1) イ (2) エ (3) ウ (4) ア

考え方 ① (1) Yes, No で答える。主語は he。
(2) Yes, No で答える。主語は it。
(3) 「だれか」と主語をたずねている。
(4) 場所をたずねている。

- 5** 答 (1) Ken will be an astronaut.
(2) He will not[He won't / He'll not] visit me tomorrow.
(3) Will they arrive on time?
(4) When will Kate come again?

考え方 ① (1) will のあとは原形の be。
(2) 「彼は明日私を訪ねてこないでしょう」 will のあとに not。
(3) 「彼らは時間通りに着くでしょうか」 will を主語の前に出す。
(4) 「ケートはいつまた来るでしょうか」

- 6** 答 (1) will be twelve next month
(2) will not climb the mountain next

考え方 ① (1) will のあとに動詞の原形を続ける。
(2) will のあとに not がきて、そのあとに動詞の原形が続く。

- 7** 答 (1) I will not[I won't / I'll not] be busy tomorrow.
(2) Will he help me? — Yes, he will.

考え方 ① (1) I am busy. を will の未来の否定文にしたもの。未来の文でも tomorrow などの副詞(句)は特に強調する以外は文末に。
(2) will を主語の前に出す。

セクション 6-1 助動詞①

▶▶ ポイント確認ドリル P.53

- 1** 答 (1) use (2) be (3) go
(4) must

考え方 ① (1)~(3) 助動詞のあとには原形がくる。be 動詞の原形は be になる。
(4) 助動詞に s や es がつくことはない。

- 2** 答 (1) must (2) may[can]
(3) may

考え方 ① (1) 義務を表すのは must。

- (2) 許可を表すのは may。can もこの意味に使うことができる。
 (3) 「～かもしれない」は may。

3 答 (1) You must wash the car.
 (2) You may read this book.

考え方 ① (1)・(2) 〈主語＋助動詞＋動詞の原形＋目的語〉の語順になる。

P.54・55

1 答 (1) swim (2) be (3) study
 (4) must not[mustn't]

考え方 ① (1) 「ここで泳いでもいいですよ」
 (2) 「お年寄りには親切にしなければいけません」
 (3) 「彼は今年フランス語を勉強しなければいけません」
 (4) 「あのいすにすわってはいけません」

2 答 (1) あなたは出かけてもいいが、6時までにもどらなければいけません。
 (2) このニュース[知らせ]は本当かもしれないが、あのニュース[知らせ]は本当ではないかもしれない。

考え方 ① (1) may と must の意味の違いがわかるような日本語にしよう。
 (2) 最後の be のあとに true を補って考えよう。

3 答 (1) must (2) must not

考え方 ① (1) 命令文を must の文にする。
 (2) 否定の命令文を must not の禁止の言い方で表す。この書きかえは重要。

4 答 (1) Must (2) May
 (3) may[must] not (4) have

考え方 ① (1) 「今出発しなければなりませんか」—「はい、そうです」
 (2) 「もう家に帰ってもいいですか」—「はい、いいですよ」
 (3) 「あなたといっしょにここにいていいですか」—「いいえ、いけません」 禁止の意味をはっきりさせるために、may not の代わりに must not を使うこともある。
 (4) 「この授業では英語を話さなければいけませんか」—「いいえ、その必要はありません」 この答え方に注意しておく。

5 答 (1) You must be very careful.
 (2) He may not come here today.
 (3) Must I wash the dishes?
 (4) May I drive the car?

考え方 ① (1) 「あなたは十分に注意しなければいけません」
 (2) 「彼は今日ここに来ないかもしれません」
 (3) 「皿を洗わなければいけませんか」
 (4) 「はい、いいですよ。あなたはその車を運転していいですよ」という返事に対する質問の文。

6 答 (1) must not swim in the river
 (2) mother may be sick

考え方 ① (1) not があるので禁止の意味にする。
 (2) 「ヘレンのお母さんは病気かもしれません」の意味。

7 答 (1) You must clean your room every day.
 (2) May[Can] I read this book? — Yes, you may[can].

考え方 ① (1) must のあとに動詞が続く。
 (2) May を使ったら may を、Can を使ったら can を返事に使う。

セクション 6-2 助動詞②

▶▶ ポイント確認ドリル P.57

1 答 (1) you (2) I (3) Shall
 (4) Will

考え方 ① Will you ~? で「～してくれませんか」と相手に依頼する文。Shall I ~? で「～しましょうか」と申し出て、相手の意向をたずねる文になる。
 (4) 疑問文でも相手に Yes の返答を期待しているときや、相手に何かをすすめる場合には any ではなく some を使う。

2 答 (1) Shall I (2) Will you
 (3) Will you

考え方 ① (1) 相手の意向をたずねている。
 (2) 依頼する文。
 (3) 物をすすめる文。tea は1つ2つと数えられない名詞なので、「紅茶1杯」と言うときは a cup of tea とする。2杯以

上のときは two cups of tea とする。cup を使うのはほかに coffee(コーヒー) などがある。水やミルクなど冷たいものには glass(グラス, コップ) を使って, a glass of water, two glasses of water などとする。テキスト 120 ページを参照。

- 3** 答 (1) Will you wash the dishes?
(2) Shall I drive the car?

考え方 ① (1) Will you のあとに動詞の原形が続く。
(2) Shall I のあとに動詞の原形が続く。

P.58・59

- 1** 答 (1) ① 彼は明日映画に行くでしょうか。② 明日私と一っしょに映画に行ってくださいませんか[行きませんか]。
(2) ① (私が)窓を開けましょうか。—— はい, お願いします。② 放課後テニスをしましょうか[しませんか]。—— はい, しましょう。

考え方 ① (1) ① 主語の意志を表して, 「彼は明日映画に行くつもりでしょうか」も可。

- 2** 答 (1) Will (2) Shall

考え方 ① (1) 「私のかさを探してください」→「私のかさを探してくださいませんか」
(2) 「今夜パーティーに行きましょう」→「今夜パーティーに行きましょうか」

- 3** 答 (1) Shall (2) What
(3) Where / Let's (4) you

考え方 ① 問いかげの文の意味は次の通り。
(1) 「あなたのためにピアノを弾きましょうか」
(2) 「次に私は何をしましょうか」
(3) 「(私たちは)明日どこに行きましょうか」
(4) 「私の代わりに[私のために]その手紙を読んでくれませんか」

- 4** 答 (1) Will you (please) come earlier?
(2) Shall I cook[make] dinner?

考え方 ① (1) 「もっと早く来てくれませんか」文末に, please? としてもよい。
(2) 「(私が)夕食を作りましょうか」

- 5** 答 (1) Will you take me
(2) Shall I read the story
(3) What shall I do

- 6** 答 (1) Will you (please) help my mother? — Yes, I will. / O.K. / All right. / Sure. / Certainly.
(2) Shall I take a picture[(some) pictures]? — Yes, please. / Please do.
(3) Shall we swim in the river? — Yes, let's.

考え方 ① (1) Will you help my mother, please? でもよい。
(2) 相手の意向を聞くので Shall I の文。
(3) 「いや, よしましょう」なら, No, let's not. となる。

セクション 6-3 助動詞 ③

▶▶ ポイント確認ドリル P.61

- 1** 答 (1) could (2) be (3) is
(4) see (5) has (6) have

考え方 ① (1) last night があるので過去形。
(2) be 動詞の原形は be。
(3) able があることに注意。
(4) have to のあとは動詞の原形。
(5) 主語が He なので has。
(6) will のあとは動詞の原形。

- 2** 答 (1) have to (2) had to

考え方 ① (1) 「～する必要はない, ～しなくてもよい」は don't[doesn't] have to ~。
(2) have to の過去の文にする。have の過去形は had。

- 3** 答 (1) She is able to speak French.
(2) No one could come back that day.

考え方 ① (1) is able to はひとまとまりにして, このあとに動詞の原形を続ける。
(2) could のあとに動詞の原形が続く。

P.62・63

- 1** 答 (1) could (2) had
(3) are (4) was

2 答 (1) あなたは今日その車を洗う必要はありませんでした。
(2) 彼はその当時 7 国語を話すことができました。

考え方 ① (1) 「洗わなくてもよかった」でもよい。
(2) be able to の過去の文。

- 3** 答 (1) Are, able (2) have to

考え方 ① (1) can を be able to で表す。
(2) must を have to で表す。

4 **答** (1) Do / to (2) Could / couldn't
(3) shouldn't (4) Were

考え方 ① (1) 「あなたはフランス語を学ばなければいけないのですか」—「はい、そうです。ドイツ語も学ばなければなりません」
(2) 「昨夜星は見えませんか」—「いいえ、見えませんでした。でも月が見えました」
(3) 「彼女に何か言うべきでしょうか」—「いや! あなたは彼女に何も言うべきではありません」 mustn't でも正解。
(4) 「あなたは電車に乗ることができましたか」—「はい、できました。ちょうど間に合いました」

5 **答** (1) The baby will soon be able to walk. / The baby will be able to walk soon.
(2) My mother will have to get up early.
(3) Tom was not [wasn't] able to swim across the river.
(4) Does Ken have to take care of the children?

考え方 ① (1) 「その赤ちゃんは間もなく歩けるようになるでしょう」 soon は文頭でも可。
(2) 「母は早く起きなければならないでしょう」
(3) 「トムはその川を泳いで渡ることができませんでした」
(4) 「健はその子どもたちの世話をしなければいけないのですか」

6 **答** (1) should be kind to
(2) Were you able to get

考え方 ① (1) You are kind to old people. に should を使ったものとする。
(2) You were able to ... を疑問文にしたもの。

7 **答** (1) Ken will be able to swim next year.
(2) You don't have to get up early tomorrow.

考え方 ① (1) 特に強調する以外は next year は文末に置く。
(2) don't の代わりに do not でもよい

が、この言い方をするときには、多くの場合 don't [doesn't / didn't] have to と短縮形を使って表す。

セクション **7-1** 不定詞・動名詞①

▶▶ ポイント確認ドリル P.65

1 **答** (1) play (2) be (3) play
(4) speak

考え方 ① to のあとは動詞の原形。be 動詞の原形は be になる。
(1) 「私は友だちと野球をするのが好きです」 不定詞は動詞の目的語。
(2) 「彼はバスケットボールの選手になりたいと思っています」 目的語。
(3) 「彼女はピアノを弾き始めました」 不定詞は主語や時制に関係ない。目的語。
(4) 「英語を話すのは簡単ではありません」 主語になっている。

2 **答** (1) want (2) begin [start]
(3) need

考え方 ① いずれも不定詞が動詞の目的語。
(1) want to ~ で「~したい」。
(2) begin [start] to ~ で「~し始める」。
(3) need to ~ で「~する必要がある」。

3 **答** (1) I don't want to see the picture.
(2) To go to the place alone is dangerous.

考え方 ① (1) 否定文や疑問文でも不定詞の形は変わらない。
(2) 不定詞が主語になっている。to go の to は不定詞を作るための to であり、go to the place の to は「~へ、~に」と方向を表す前置詞で、同じ to でもその働きは大きく異なる。

P.66・67

1 **答** (1) see (2) be (3) talk
(4) go

考え方 ① (1) 「あなたは今日彼女に会いたいですか」
(2) 「私は自分の部屋でひとりっきりになるのが好きです」
(3) 「私は昨日あなたと話したかった」
(4) 「だれが映画を見に行きたがってるのですか」

2 **答** (1) 私は立ち上がろうとしましたが、で

- きませんでした。
- (2) 私の人生の目標は医者になることです。
- (3) その山に登るのは私にとって簡単ではありません。

考え方 ① (1) couldn't のあとに stand up を補って考える。
 (2) この文では不定詞(to become)がさらに補語(a doctor)をとっていることにも注意。

3 **答** (1) イ (2) ウ (3) ア

考え方 ① (1) 「私の妹は夜中の12時ごろに突然泣き出しました」 イ「次回はもっとうまくそれをするようにしてください」
 (2) 「そのレストランを見つけるのはとても難しかった」 ウ「真実を話すのは難しいことがよくあります」
 (3) 「私の計画は自分自身の家を建てることです」 ア「彼の仕事は郵便の集配です」

4 **答** (1) What (2) to

考え方 ① (1) 「私は英語の教師になりたい」が返答の文の意味。
 (2) 「あなたは昨日宿題を終えましたか」が質問の文の意味。

5 **答** (1) エ (2) ア (3) オ
 (4) ウ (5) イ

考え方 ① (1) 不定詞が補語になっている。
 (2) 不定詞が主語になっている。be kind to ~で「～に親切にする」の意で、この to は前置詞。
 (3) try to ~で「～しようとする」の意味。
 (4) began の目的語になる不定詞。
 (5) want の目的語になる不定詞。

6 **答** (1) would like to see her
 (2) did you begin to study

考え方 ① (1) 「彼女にもう一度会いたいのですが」 would like to ~は want to ~の控え目な表現になる。
 (2) 「あなたはいつフランス語を勉強し始めたのですか」 to study が begin の目的語になる。

7 **答** (1) Do you like to play tennis?
 (2) You must[have to] try to do your best.

考え方 ① (1) to play tennis が like の目的語。
 (2) to do ... が try の目的語。

セクション 7-2 不定詞・動名詞 ②

▶▶ ポイント確認ドリル

P.69

1 **答** (1) take (2) be (3) see
 (4) hear

考え方 ① (1) 「私は写真を撮るために公園に行きました」
 (2) 「いい選手になれるように毎日練習しなさい」
 (3) 「私は彼女にまた会えてとてもうれしい」
 (4) 「私はその知らせを聞いて悲しかった」

2 **答** (1) to (2) was, get[receive]
 (3) sorry to

考え方 ① (1) 目的を表す副詞的用法。
 (2) 「手紙を受け取る」は get[receive] a letter。
 (3) 「残念な」は sorry。

3 **答** (1) He went there to see her.
 (2) I was sad to know that.

考え方 ① (1) 目的を表す。
 (2) 原因を表す。

P.70・71

1 **答** (1) 彼は年老いた両親に会うためにブラジルからもどりました。
 (2) 彼女はその事実を知って驚きました。
 (3) 彼女の悲しい話を聞いてだれもが気の毒に思いました。

2 **答** (1) ウ (2) ア (3) イ

考え方 ① (1) 「彼女は彼の会社で働きたいと思っています」 ウ「私は自分の部屋でひとりっきりになるのが好きではありません」
 (2) 「彼はアメリカの歴史を研究するためにアメリカへ行きました」 ア「私たちはあなたと話すためにここへ来ました」
 (3) 「私はヘレンに会えてとてもうれしかった」 イ「彼女は彼の話を聞いてとても怒りました」

3 **答** (1) Were (2) To

考え方 ① (1) 「その知らせを聞いてあなたはうれしかったのですか、それとも悲しかった

のですか」—「とても悲しかったです。ひどい知らせでした」 be 動詞を補う。
 (2) 「あなたは昨日なぜ公園へ行ったのですか」—「花の写真を何枚か撮るためです」 目的を表す副詞的用法の不定詞で答える。

4 答 (1) to borrow (2) to hear

考え方 ① (1) 「来て、この本を借りた」→「借りるために来た」
 (2) 「聞いた、それでうれしかった」→「聞いてうれしかった」

5 答 (1) ウ (2) オ (3) ア
 (4) イ (5) エ

考え方 ① (1)・(2)・(5) 目的を表す用法。
 (3)・(4) 原因を表す用法。
 エの something important の語順にも注意する。something や anything のような -thing で終わる語を修飾する形容詞はこの語のうしろに置く。

6 答 (1) went to the store to buy
 (2) was glad to see her son

考え方 ① (1) 「彼女はリンゴを買うためにその店に行きました」
 (2) 「彼女は再び息子に会えてうれしかった」

7 答 (1) He will [He'll] be surprised to see this sight.
 (2) He went to the zoo to take (some) pictures of the panda(s).

考え方 ① (1) 原因を表す。
 (2) 目的を表す。

セクション **7-3 不定詞・動名詞③**

▶▶ ポイント確認ドリル P.73

1 答 イ 私には本を読む時間が必要です。
 エ あなたは何か食べるものがほしいですか。

考え方 ① イ to read books が time を修飾。
 エ to eat が anything を修飾。
 アは目的を表す副詞的用法で、ウは動詞の目的語になる名詞的用法。

2 答 (1) to show (2) to do

考え方 ① (1) to show you が a picture を修飾。
 (2) to do が nothing を修飾。

3 答 (1) I want something to drink.
 (2) I have much work to do today.

考え方 ① (1) to drink が something を修飾。
 (2) to do が (much) work を修飾。

P.74・75

1 答 (1) ① トムはその仕事をしなければなりません。② トムにはしなければならない仕事がたくさんあります。

(2) ① 健には助けてやるような友だちはいません。② 健には彼 [= 健] を助けてくれるような友だちはいません。

考え方 ① (1) ① have [has] to ~ で「~しなければならぬ」② to do が形容詞的用法の不定詞。
 (2) ①は健が友だちを助けるのであり、②は友だちが健を助けるということ。

2 答 (1) B (2) C (3) B (4) A
 (5) C (6) A (7) C (8) A

考え方 ① (1) 「私は切手を買いにそこに行くところです」
 (2) 「私は何か食べるものがほしい」
 (3) 「私はあなたに会えてとてもうれしかった」
 (4) 「今度ももっとうまくやるようにしてください」
 (5) 「私には今日書くべき手紙がたくさんあります」
 (6) 「よいことをするという事は幸せになるということです」
 (7) 「私にはあなたと遊ぶ時間がありませんでした」
 (8) 「彼はその会合に行くことに決めました」

3 答 (1) to do (2) eat

考え方 ① (1) 「あなたは今忙しいですか」—「いいえ。私は今することが何もありません」
 (2) 「あなたはおなかがすいていますか」—「はい、とても。何か食べるものが必要です」

4 答 (1) to drink (2) to do

考え方 ① (1) 「私は何かを飲みたい」→「私は何か飲むものがほしい」
 (2) 「私はたくさんの宿題をしなければ

ならない」→「私にはしなければいけない宿題がたくさんある」

- 5** 答 (1) have anything cold to
(2) have time to visit
(3) have a lot of books to

考え方 ① (1) 「あなたは何か冷たい飲み物を持っていますか」
(2) 「私は東京を訪れる時間がありませんでした」
(3) 「私には読むべき本がたくさんあります」

- 6** 答 (1) He had nothing to do yesterday. / He didn't[did not] have anything to do yesterday.
(2) There are[There're] many[a lot of / lots of] places to see in Kyoto. / Kyoto has many[a lot of / lots of] places to see.
(3) Do you have anything to say?

考え方 ① (1) to do が nothing[anything] を修飾。
(2) to see が places を修飾。
(3) anything の代わりに something を使うと「何か言いたいことがあるのだろう」くらいの意味になる。疑問文ではふつう anything を使うと覚えておこう。

セクション 7-4 不定詞・動名詞 ④

▶▶▶ ポイント確認ドリル

P.77

- 1** 答 (1) how (2) what (3) where

考え方 ① 疑問詞のもともとの意味を考える。次の意味の文を作る。

- (1) 「私は車の運転のしかたがわかりません」
(2) 「私は今何をすべきか知りたい」
(3) 「私は明日どこに行けばいいか知りたい」

- 2** 答 (1) It (2) It's (3) was
(4) for

考え方 ① (1) 「サッカーをするのはおもしろい」 This は形式主語になることはできない。
(2) 「この本を読むのは簡単です」 It だと be 動詞がない文になってしまう。
(3) 「昨日そこへ着くのは簡単ではあり

ませんでした」 yesterday があるので、be 動詞は過去形にする。

- (4) 「私たちがここにとどまるのは難しい」 不定詞の意味上の主語は for ~ で表す。

- 3** 答 (1) I know how to use this camera.
(2) It is dangerous to walk along this street.

考え方 ① (1) how to use this camera を know の目的語として使う。
(2) It を to walk along this street を指す形式主語として使う。

P.78・79

- 1** 答 (1) how to (2) It's, for
(3) what to

考え方 ① (1) 「～の使い方」は how to use ~。よく使う表現なのでそのまま覚えておこう。
(2) 最初の空所は It is の短縮形が入る。不定詞の意味上の主語は to ~ の前に for を置く。
(3) この文の next は「次に」の意味の副詞。形容詞の「次の」と区別する。

- 2** 答 (1) この山に登るのはそんなに危険ですか。
(2) 私はどこでバスを降りたらいいのかわからない。
(3) どちらのシャツを買ったらいいか私にアドバイスしてください。
(4) 私にとってこの英語の本を読むことは簡単ではありませんでした。

考え方 ① (1) 形容詞や副詞の前に入る so は「そんなに、それほど」の意味になる。
(2) where to ~ で「どこで～したらいいか」の意味。
(3) advise のあとに目的語が2つある。「～を」にあたるのが which 以下。which のあとに名詞が続いているので、which のあとに名詞が続いているので、「どの～、どちらの～」の意味になる。
(4) 過去の否定文になっていることにも注意する。

- 3** 答 (1) イ (2) ウ (3) ア

考え方 ① (1) 「昨日この本を辞書なしで読むこと

はとても難しかった」
 (2) 「この新しいコンピュータの使い方を私が説明しましょう」
 (3) 「あなたがその仕事を次の金曜日までに終えることはそんなに簡単ではないでしょう」 イは過去の文になるので、(3)には使えない。

- 4** ① (1) you know where to buy
 (2) It's important for you to study
 (3) to know when to leave home
 (4) Is it exciting to watch soccer games

考え方 ① (1) what が不要。「どこで～したらよいか」は where to ～。
 (2) of が不要。不定詞の意味上の主語は for ～で表す。
 (3) what が不要。「いつ～したらよいか」は when to ～。
 (4) for が不要。for のあとにくる名詞が語群の中にないので、for が不要になる。

- 5** ① (1) I didn't[did not] know what to say.
 (2) Is it easy for you to get up early?
 (3) I want to know how to go[get] to the library.
 (4) It is [It's] dangerous to go there at night.

考え方 ① (1) 「何を～したらよいか」は what to ～。
 (2) It ... for — to ～. の疑問文になる。
 (3) 「どう～したらよいか」は how to ～。
 (4) It ... to ～. の文。

セクション **7-5** 不定詞・動名詞 ⑤

▶▶ ポイント確認ドリル P.81

- 1** ① イ あなたはピアノを弾き終えましたか。
 ウ 野球をすることはとても楽しい。

考え方 ① イ 動詞の目的語になる動名詞。
 ウ 主語になる動名詞。
 ア, エは進行形に使われている～ing 形。

- 2** ① (1) enjoy singing
 (2) is collecting

考え方 ① (1) enjoy ～ing で「～して楽しむ」。
 (2) collecting は動名詞で、補語。

- 3** ① (1) He stopped reading the book.

- (2) He is good at running.

考え方 ① (1) stop のあとに続く～ing 形は、stop の目的語になる動名詞。
 (2) be good at ～ing で「～することが得意である」。good の代わりに poor や bad を使うと「～がへたである」の意味。

P.82・83

- 1** ① (1) watching (2) to see
 (3) playing (4) talking
 (5) to study (6) eating

考え方 ① (1) 「私たちは毎日テレビを見て楽しみます」
 (2) 「またすぐにあなたに会いたい」
 (3) 「彼はサッカーをするのがへたです」
 (4) 「話すのをやめて私の話を聞きなさい」
 (5) 「私は大学で歴史を勉強したい」
 (6) 「食べすぎはやめるべきです」

- 2** ① (1) ① 彼女は地図を見るのをやめました。② 彼女は地図を見るために立ちどまりました。
 (2) ① 彼はさようならを言うために部屋に入って行きました。② 彼はさようならを言わずに部屋を去りました[出て行きました]。

考え方 ① (1) ② 「立ちどまって地図を見た」のような日本語でもよい。
 (2) ② without ～ing で「～しないで、～することなしに」という成句として覚えておいてもよい。

- 3** ① (1) collecting
 (2) began[started] raining
 (3) Walking

考え方 ① (1) 「ジェーン、あなたの趣味は何ですか」—「古い硬貨を集めることです」
 (2) 「激しく雨が降っていますね」—「ええ。1時間前に降り始めました」
 (3) 「あなたは毎朝歩いているのですよね」—「はい。速く歩くことはいい運動になります」

- 4** ① (1) running (2) to read
 (3) playing (4) talking (5) to

考え方 ① (1) 「彼女は公園を走るのが好きです」
 (2) 「彼はその本を読み始めました」
 (3) 「ケートは上手にテニスができます」

→「ケートはテニスをするのが得意です」
 (4) 「トムはジェーンと話した。トムはそれをとても楽しんだ」→「トムはジェーンと話してとても楽しみました」
 (5) 「健は話すのをやめて音楽を聞いた」→「健は音楽を聞くために話すのをやめました」 stop ~ing to ... で「…するために～するのをやめる」の意味になることを確認しておこう。

- 5** ① (1) Speaking good English is not
 (2) I enjoy listening to music on

考え方 ① (1) 動名詞が主語になっている。
 (2) 動名詞が動詞の目的語になっている。on Sundays と複数形にして使うと「日曜日ごとに、日曜日にはいつも」といった意味合いが含まれるようになる。

- 6** ① (1) He finished reading the difficult book.
 (2) My brother decided to be[become] a doctor.

考え方 ① (1) finish の目的語は動名詞に。
 (2) decide の目的語は不定詞で、decide to ~で「～することに決める、～すると決心する」の意味になる。

まとめのテスト③ P.84・85

- 1** ① 1 ア 2 イ 3 ア
 4 イ 5 イ

考え方 ① 1 only one ~ (たった1つの~) とあるので単数で is。
 2 be 動詞の原形は be。
 3 finish の目的語は動名詞。
 4 want の目的語は不定詞。
 5 hope の目的語は不定詞。

- 2** ① 1 (あなたは)ここにいてもよいが、話してはいけません。
 2 あなたはその冷蔵庫のあけ方を知っていますか。

考え方 ① 1 may は許可を表し、must not は禁止を表す。
 2 how to ~ は「～のしかた、どのように～するか」の意味。これを know の目的語として使う。

- 3** ① 1 Shall 2 Is 3 there
 4 to do 5 to drink

考え方 ① 1 「窓を開けましょうか」—「はい、お願いします」
 2 「あなたのお兄[弟]さんはドイツで音楽を勉強するつもりですか」—「はい、そうです」
 3 「あなたの市に大学はありますか」—「はい、あります」
 4 「あなたは今忙しいですか」—「はい、忙しいです。今すべきことがたくさんあります」
 5 「あなたは今のどがかわいていますか」—「はい、とても。私は何か飲むものがが必要です」

- 4** ① 1 There are not[There aren't / There're not] any students in the room.
 2 I am[I'm] going to do my best.
 3 Tom is good at swimming.
 4 Jim had a lot of homework to do yesterday.

考え方 ① 1 be 動詞のあとに not. 否定文なので、some を any に。
 2 be going to の文に。
 3 be good at ~ing で「～することが得意である、～することが上手だ」。
 4 「ジムは昨日しなければいけない宿題がたくさんありました」の意味の文に。

- 5** ① 1 You must not swim in the river.
 2 He will be very surprised to hear the news.

考え方 ① 1 must not で禁止を表す。have が不要。
 2 be surprised to ~ で「～して驚く」。hearing が不要。

- 6** ① 1 How many days are there in August? — There are[There're] thirty-one[31] (days).
 2 You must[have to] study hard to be[become] an English teacher.

考え方 ① 1 How many ~ のあとに there are の疑問文の語順を続ける。
 2 to be[become] は目的を表す副詞的

まとめのテスト④ P.86・87

- 1 ① 1 ア 2 イ 3 ア
4 イ 5 ア

考え方 ① 1 Will you ~? で「～してくれませんか」。
2 主語が you なので Are。
3 enjoy の目的語は動名詞。
4 like の目的語は不定詞・動名詞のどちらもとるが、would like to ~の形では to ~しかとらない。
5 be interested in の in が前置詞で、この目的語になるので動名詞に。

- 2 ① 1 私の兄[弟]は歩くのをやめて、何かを食べ始めました。
2 私たちはこの狭い[小さな]世界でお互いを理解し合うために外国語を勉強します。

考え方 ① 1 walking, to eat はそれぞれ直前の動詞の目的語になっている。
2 to understand は目的を表す副詞的用法の不定詞。

- 3 ① 1 Must 2 Did
3 many / are 4 Where / are
5 Shall

考え方 ① 1 「私は一日中ここにいなければなりませんか」—「いいえ、その必要はありません」
2 「あなたは車で来なければならなかったのですか」—「はい、そうです」
3 「今年は2月に何日ありますか」—「29日あります」
4 「あなたたちはどこでコンサートを開く予定ですか」—「体育館で開く予定です」
5 「今晚映画を見に行きましょうか」—「ああ、それはいい考えですね。そうしましょう」

- 4 ① 1 He will be able to walk across the desert.
2 Do I have to clean the room?
3 He must write two letters today.
4 Bob went to the library to read the book.

考え方 ① 1 will のあとは原形。「彼は歩いてその砂漠を渡れるでしょう」

- 2 have を一般動詞として扱う。
3 「彼は今日書かなければならない手紙が2通ある」→「彼は今日手紙を2通書かなければならない」
4 「ボブはその本を読むために図書館へ行きました」という文を作る。

- 5 ① 1 There will be a concert next month.
2 Tom did not stop talking with her.

考え方 ① 1 shall が不要。There is ... の文に will を使って未来の文にしたもの。
2 of が不要。stop の目的語に動名詞 talking を使う。

- 6 ① 1 Ken enjoyed running in[at] the park.
2 What are you going to do next? — I am[I'm] going to see[meet] her.

考え方 ① 1 enjoyed の目的語に動名詞を使う。running のつづりにも注意しておく。
2 What will you do next? — I will [I'll] see[meet] her. でもよい。

セクション 8 会話表現・命令文

ポイント確認ドリル P.89

- 1 ① (1) イ (2) ウ (3) エ

考え方 ① (1) Hold on. で「そのままお待ちください」の意味。
(2) だれがだれに電話するのかを考える。
(3) May I speak to ~ (, please)? で「～さんをお願いします」の意味。

- 2 ① (1) How (2) Who's (3) take
(4) Don't[Never] be

考え方 ① (1) 形容詞の前に How がくる。
(2) Who is の短縮形になる。
(3) この場合は buy を使わないのがふつう。
(4) Never を使うと意味が強くなる。

P.90・91

- 1 ① (1) How (2) Be
(3) What (4) walk

考え方 ① (1) 「なんて美しいのでしょう」
(2) 「ベン、いい子にしていなさい」
(3) 「なんてかわいい人形なのでしょう」
(4) 「今日は歩いて学校へ行きましょう」

2 答 (1) 一生けんめい勉強しなさい、さもないと試験に落ちますよ。

(2) 急ぎなさい、そうすればその列車に間に合いますよ[乗ることができますよ]。

考え方 ① (1) 勉強するか、落ちるかのどちらかだ、と考えればわかりやすい。
(2) Come here and meet my parents. は「こちらに来て私の両親に会ってください」の意味で、命令文を結ぶ and はふつうの「そして」の意味になる。

3 答 (1) This is (2) I'll take
(3) Why don't

考え方 ① (1) 簡単に Speaking. とも言う。
(2) I'll と短縮形で使うのがふつう。
(3) Why don't you ~? で「~したらどうですか」。

4 答 (1) show (2) long / take
(3) to / take

考え方 ① (1) 「このシャツは好きではありません。ほかのを見せてください」—「こちらはいかがですか」
(2) 「博物館へ行くのにはどれくらい時間がかかりますか」—「約15分かかります」
(3) 「ジェーンさんをお願いします」—「今外出中です。伝言を受けましょうか」

5 答 (1) Be quiet in this room.
(2) Don't be noisy in the library.
(3) Be more careful.

考え方 ① (1) 「この部屋では静かにしなさい」
(2) 「図書館で騒がしくしてはいけません」
(3) 「もっと注意しなさい」

6 答 (1) Be a good boy at
(2) Don't be kind to
(3) Be nice to him, and

考え方 ① (1) be 動詞の命令文になる。
(2) be 動詞の否定の命令文になる。
(3) 「彼にやさしくしなさい、そうすれば彼もあなたにやさしくするでしょう」

7 答 (1) Be a better boy.
(2) Hurry (up) [Be quick], or you will [you'll] be late.

考え方 ① (2) quick は形容詞なので、quick を使ったら、その前には be が必要。

セクション 9-1 いろいろな文型①

ポイント確認ドリル

P.93

1 答 (1) V (2) S (3) C
(4) C (5) S (6) V

考え方 ① (4) 一般動詞 look の補語になっている。so は beautiful を修飾する副詞。

2 答 (1) brother is
(2) be [become], teacher

考え方 ① (1) 第1文型の文。in 以下は副詞句。
(2) 第2文型の文。teacher が補語。

3 答 (1) Ken studies in the library every day.
(2) You look sad today.

考え方 ① (1) 第1文型の文。
(2) 第2文型の文。sad が形容詞で補語。

P.94・95

1 答 (1) B (2) A (3) A (4) B
(5) A (6) B (7) B (8) A

考え方 ① A : 鳥たちが森で歌っていました。
B : 私の母は先週病気でした。
(1) 「彼は有名な医者になりました」
(2) 「トムはあの会社で働いています」
(3) 「彼女は昨夜よく眠れませんでした」
(4) 「健は昨日とても忙しそうでした」
(5) 「私はいつもは7時に起きます」
(6) 「私の母は英語の教師です」
(7) 「彼は私に腹を立てました」
(8) 「私たちの学校は丘の上に建っています」

2 答 (1) このあたりはすぐに[じきに / 間もなく]暗くなるでしょう。
(2) あなたのお母さんはとても若く見えません。
(3) 彼女はお姉さん[妹さん]よりも楽しそうに[幸せそうに]見えました。

考え方 ① (1) この文の get は「~になる」の意味。
(2) look は「~のように見える」の意味。
(3) happier は happy の比較級。

3 答 (1) strange (2) colder

考え方 ① (1) 「そのニュースは奇妙に聞こえるかもしれませんが、本当です」
(2) 「明日は今日よりももっと寒くなる」

でしょう」

- 4** 答 (1) will become a famous scientist
 (2) did not look happy
 (3) felt very hungry
 (4) opens at ten o'clock every

考え方 ① (1) 「彼は有名な科学者になるでしょう」
 (2) 「ケートはそのとき幸せそうには見えませんでした」
 (3) 「私はそのあととても空腹を感じました」
 (4) 「その店は毎日10時に開店します」

- 5** 答 (1) They will [They'll] become good friends.
 (2) The bike [bicycle] did not [didn't] look new.
 (3) It will [It'll] get [become / grow / be] cold tomorrow.
 (4) His story did not [didn't] sound true.

考え方 ① (1) become の代わりに be でもよい。
 (2) look のあとに名詞を続けたいときは、like を使って look like ~ とするので、... did not look like a new one. としてもよい。
 (3) tomorrow は強調する以外は文末に。
 (4) 形容詞 true が補語になる。

セクション **9-2** いろいろな文型②

▶▶ ポイント確認ドリル P.97

- 1** 答 (1) C (2) O (3) O
 (4) C (5) O (6) C

考え方 ① 補語なら主語とイコールの関係になり、目的語は動詞の動作の対象となる。
 (1) 「彼は年の割に若く見えます」
 (2) 「私は昨日何もすることがありませんでした」
 (3) 「彼はおもしろい話をしました」
 (4) 「あなたの話は奇妙に聞こえます」
 (5) 「毎年多くの人が京都を訪れます」
 (6) 「明日はずっと寒くなるでしょう」

- 2** 答 (1) play (2) show (3) give
 (4) buy

考え方 ① (1)・(4) 目的語が1つ。
 (2)・(3) 目的語が2つ。

- 3** 答 (1) Don't give him a comic book.
 (2) I'll make you a doll.

考え方 ① (1) him が間接目的語で、(a) comic book が直接目的語。
 (2) you が間接目的語で、(a) doll が直接目的語。

P.98・99

- 1** 答 (1) A (2) B (3) A (4) B

考え方 ① A: 若い人たちはポップ音楽が好きです。
 B: 彼は私にすてきなカメラを買ってくれました。
 (1) 「私はあなたのお兄(弟)さんに通りで会いました」
 (2) 「メアリーはジョンにその秘密を話しました」
 (3) 「彼女は新しい赤ちゃんを訪問者たちに見せました」 her new baby でひとまとまり。new baby の前に a がいないことに注意。
 (4) 「中村先生は私たちに英語を教えています」

- 2** 答 (1) ウ (2) ア (3) エ (4) イ
 (5) オ

考え方 ① (1) water が目的語。
 (2) 「太陽は東から昇ります」の意味。from the east とは言わないので注意。
 (3) me が間接目的語で、book が直接目的語。to read は book を修飾する形容詞的用法の不定詞。
 (4) 「すぐにもっと暗くなるでしょう」
 (5) 「私たちはその少年をジムと呼んでいます」

- 3** 答 (1) 彼女はスープを味見して、その中に塩を少し入れました。
 (2) ジェーンのお母さんは、彼女に新しいドレスを作っています。

考え方 ① (1) soup, salt が目的語になる。
 (2) her が間接目的語で、(a new) dress が直接目的語になる。

- 4** 答 (1) it to you (2) them for my
 考え方 ① 直接目的語が代名詞のときは、〈代名詞 + to[for] + 人〉の語順になる。
 (1) 「それをあなたにあげるつもりです」

(2) 「それらを私の家族に作るつもりはありません」

- 5** 答 (1) He gave some flowers to me.
(2) He bought a diamond ring for her.
(3) Mr. Kato teaches us English.
(4) We have much snow here.

考え方 ① (1) give には to を使う。「彼は私に花をくれました」
(2) buy には for を使う。「彼は彼女にダイヤの指輪を買ってあげました」
(3) 「加藤さんは私たちの英語の先生です」→「加藤先生は私たちに英語を教えています」
(4) 「ここではたくさん雪が降ります」書きかえた文の We は特定の人を指す We ではない。このように、一般の人を指して we や you を使うことがある。

- 6** 答 (1) will show you the picture
(2) will tell an interesting story to

考え方 ① (1) 「あなたにその写真をお見せしましょう」
(2) 「おもしろい話をあなたにお話ししましょう」

- 7** 答 (1) Will you (please) lend me your dictionary? / Will you (please) lend your dictionary to me?
(2) He told [showed] me the way to the station.

考え方 ① 前置詞を使う場合はどちらも to。
(1) please は文末でもよい。
(2) 「(道)を教える」の動詞には teach は使わない。

セクション 10 -1 受動態(受け身)①

▶▶ ポイント確認ドリル P.101

- 1** 答 (1) washed, washed
(2) written (3) made (4) eat
(5) put, put

考え方 ① (1)以外は不規則動詞。

- 2** 答 (1) spoken (2) is (3) was
(4) are

考え方 ① (1) speak の過去分詞は spoken。「英語は世界中で話されています」

(2) 主語は単数。「その車は毎日洗われます」

(3) three years ago は過去を表す。「その家は3年前に建てられました」
(4) 主語が複数なので、are。「これらの本は多くの人たちに読まれています」

- 3** 答 (1) This computer is used every day.
(2) These letters were written by Tom.

考え方 ① (1) 主語が単数で現在の受動態。
(2) 主語が複数で過去の受動態。行為者は by ~ で表す。

P.102・103

- 1** 答 (1) cooked (2) spoken
(3) was (4) were

考え方 ① (1) 「夕食は母によって料理されます(→夕食は母が料理します)」
(2) 「この国では英語が話されています」
(3) 「その洞窟は何年も前に発見されました」
(4) 「その少年たちは全員パーティーに招待されました」

- 2** 答 (1) その車は毎週日曜日にジムによって洗われます。
(2) 何千という [非常に多くの] 星が夜に見られます。
(3) 彼の話はすぐに忘れられました [忘れ去られました]。

考え方 ① (2) 現在で主語が複数。
(3) 過去の受動態。

- 3** 答 (1) is used (2) was taught
(3) spoken in (4) were planted
(5) was read (6) is, closed

考え方 ① 書きかえた文の意味は次の通り。
(1) 「この車は父に使われています」
(2) 「数学は昨年伊藤先生によって教えられました」
(3) 「アメリカでは英語が話されています」
(4) 「これらの木はヘレンによって植えられました」
(5) 「その手紙は今日健によって読まれました」
(6) 「その店はたいてい8時に閉店します」受動態では usually は be 動詞のあとにくることに注意する。

- 4** ④ (1) Kyoto is visited by a lot of people every year.
 (2) The book was read by the student.
 (3) Kate opened the windows this morning.
 (4) People [They] speak English and French in Canada.

考え方 ① (1) 「京都は毎年多くの人に訪れられます」
 (2) 「その本はその生徒に読まれました」
 (3) 「ケートが今朝窓を開けました」
 (4) 「カナダの人たちは英語とフランス語を話します」 受動態の文では、by ～がなくてもカナダの人たちとわかるので省いてある。

- 5** ④ (1) CDs are used by our
 (2) pictures were found by the

- 6** ④ (1) This book was written by Tom's father last year.

- (2) This room is cleaned by Emi every day.

考え方 ① (1) Tom's father wrote this book last year. を受動態にしたもの。write は wrote — written と変化する。
 (2) Emi cleans this room every day. を受動態にしたもの。

セクション **10-2 受動態(受け身)②**

▶▶▶ ポイント確認ドリル P.105

- 1** ④ (1) heard, heard (2) sent, sent
 (3) took, taken (4) give, given

- 2** ④ (1) not (2) not
 (3) Is (4) written

考え方 ① 否定文は be 動詞のあとに not を置き、疑問文は be 動詞を主語の前に出す。

- 3** ④ (1) Sugar is not sold at that store.
 (2) Was this picture taken last year?

考え方 ① (1) 否定文。not を is のあとに。
 (2) 疑問文。was を主語の前に。

P.106・107

- 1** ④ (1) isn't [is not] (2) Was
 (3) wasn't [was not] (4) is

考え方 ① (1) 「この音楽は女の子たちに愛されていません」

- (2) 「この電子メールは昨日あなたに送られたのですか」 be 動詞を過去形に。
 (3) 「この辞書は昨日使われませんでした」 主語は単数。
 (4) 「パーティーにだれが招待されていますか」 Who は単数扱いにする。

- 2** ④ (1) あなたの国では何語が話されていますか。

- (2) その箱の中には何も発見されませんでした [見つかりませんでした]。

- 3** ④ (1) was not (2) didn't read

考え方 ① (1) 「この箱はトムによって作られませんでした [作られたものではありません]」
 (2) 「若い人たちはこの本を読みませんでした」

- 4** ④ (1) Was / was (2) Is / is

- (3) When / was (4) many / are

考え方 ① (1) 「その車はジムによって洗われたのですか」—「いいえ、ちがいます。ボブによって洗われました」
 (2) 「この会社ではフランス語が使われているのですか」—「はい、そうです。ここでは英語も使われています」
 (3) 「あの家はいつ建てられたのですか」—「5年前に建てられました」
 (4) 「何人がそのパーティーに招待されているのですか」—「約50人です」

- 5** ④ (1) The letter wasn't [was not] written by Kate.

- (2) Was Jane's mother helped by Tom?
 (3) Do Japanese people like this song?
 (4) Where was the sound heard?

考え方 ① (1) 「ケートはその手紙を書きませんでした」→「その手紙はケートによって書かれませんでした」
 (2) 「トムはジェーンのお母さんを手伝いましたか」→「ジェーンのお母さんはトムに手伝ってもらいましたか」
 (3) 「この歌は日本人に好まれていますか」→「日本人はこの歌が好きですか」
 (4) 「その音は森で聞こえました」→「その音はどこで聞こえましたか」

- 6** ④ (1) is not taught in our

(2) many dolls were made by Kate

考え方 ① (1) 現在の受動態の否定文になる。
(2) How many dolls を主語にする。

7 **答** (1) Stars were not[weren't] seen last night.

(2) What was found in the box? —
An[One] old book was (found).

考え方 ① (1) can の過去形を使って, Stars could not[couldn't] be seen last night. としてもよい。また, No stars を主語にして, No stars were[could be] seen last night. という文も可能。➔ 33

(2) 「見つける」は find でその過去(分詞)は found。find の代わりに discover でもよい。discover は規則動詞なので, discovered となる。

セクション **10-3 受動態(受け身)③**

▶▶ ポイント確認ドリル P.109

1 **答** (1) will (2) be (3) be opened
(4) be done

考え方 ① (1) 「トムは動物園に連れて行かれるでしょう」 助動詞やそれに続く動詞に, 3人称・単数の s がつくことはない。
(2) 「新人の選手が明日スタジアムで見られるでしょう」 原形の be。
(3) 「そのドアは小さな子どもにもあけることができます」 can のあとに be と過去分詞を続ける。

2 **答** (1) must (2) may
(3) cannot[can't]

考え方 ① (1) 「～しなければならない」は must。
(2) 「～かもしれない」は may。
(3) 「～することができない」は cannot [can't]。

3 **答** (1) The book will be given to you.
(2) This fruit can be eaten all around Japan.

考え方 ① (1) given は give の過去分詞。will のあとに be と過去分詞を続ける。
(2) eaten は eat の過去分詞。can のあとに be と過去分詞を続ける。

1 **答** (1) will be cooked
(2) will not[won't] be cooked.
(3) curry be cooked

考え方 ① もとの文は「カレーは明美によって料理されます」。
(1) 「カレーは明美によって料理されるでしょう」
(2) 「カレーは明美によって料理されないでしょう」
(3) 「カレーは明美によって料理されるでしょうか」

2 **答** (1) その山の頂上は今日見ることができません[見られません, 見えません]。
(2) 彼の年齢は何人かの人たちに知られているかもしれません。
(3) その本は今すぐ彼に送られなければなりませんか。

考え方 ① (1) can't があるので否定文になる。
(2) may は「～かもしれない」の意味。
(3) must の疑問文になる。

3 **答** (1) can (2) Will (3) Where

考え方 ① (1) 「この動物はあの動物園で見ることができますか」—「はい, 見られます」
(2) 「その本は日本で販売されるでしょうか」—「いいえ, されないでしょう」
(3) 「この種の昆虫はどこで見られますか」—「日本だけで見られます」

4 **答** (1) This song will be loved by young people.
(2) This book cannot[can't] be read by children.
(3) Can this drink be made from milk?
(4) Will the windows be opened by Helen?

考え方 ① 書きかえた文の意味は次の通り。
(1) 「この歌は若い人たちに愛されるでしょう」
(2) 「この本は子どもには読むことができません」
(3) 「この飲み物は牛乳から作ることができますか」
(4) 「窓はヘレンによってあけられるのでしょうか」

- 5** ① (1) **them will be invited to**
 (2) **Nothing can be done about**

考え方 ① (1) 主語が Some of them。このあとに will be と過去分詞を続ける。invite ~ to ...で「～を…に招待する」の意味。
 (2) 主語は Nothing。このように否定語を主語にした否定文も作ることができる。

- 6** ① (1) **Curry will be cooked today.**
 (2) **This kanji cannot[can't] be written by children.**

考え方 ① (1) Curry is cooked ...を will を使って未来の文にしたもの。
 (2) 能動態にすると、Children cannot [can't] write this kanji. になる。write の過去分詞は written。

まとめのテスト⑤ P.112・113

- 1** ① 1 イ 2 ア 3 イ
 4 イ 5 ア

考え方 ① 1 quiet は形容詞なので Be で始める。
 2 補語になるのは形容詞。
 3 〈Don't+動詞の原形...〉の形。
 4 受動態。tell の過去分詞は told。
 5 現在も英語はオーストラリアで話されているから be 動詞は現在形。

- 2** ① 1 あの山を見てごらん。なんて美しいのでしょうか。
 2 あの店では高価なアクセサリーだけが売られています。

考え方 ① 1 〈How+形容詞(副詞)!〉で、「なんと～でしょう」と驚いたり感嘆する表現。
 2 現在の受動態の文。

- 3** ① 1 make, sad 2 and
 3 calling 4 was put
 5 were sent

考え方 ① 1 〈SVOC〉の文で、Vに make がくる文。
 2 命令文のあとの and は「そうすれば」。
 3 please は省かれることもある。
 4 過去の受動態。put は過去も過去分詞も同じ形の put。
 5 主語が複数の過去の受動態。

- 4** ① 1 **Be a good boy.**
 2 **Don't be noisy in class.**

- 3 **The bike wasn't[was not] used by the boys.**

- 4 **Was the doghouse made by the boy?**

考え方 ① 1 Be で始まる命令文になる。
 2 Don't で始める。
 3 過去の否定文であることに注意。
 4 過去の疑問文であることに注意。

- 5** ① 1 **Why don't you go to the movies?**
 2 **Were the dishes washed by Jane?**

考え方 ① 1 do が不要。
 2 was が不要。主語が dishes で複数。

- 6** ① 1 **She did not[didn't] look sad yesterday.**
 2 **Was this fish caught by your father?**
 — **Yes, it was.**

考え方 ① 1 sad が補語になる第2文型の文。
 2 Your father caught this fish. を受動態にすると This fish was caught by your father. になり、これを疑問文にしたものが解答になる。

まとめのテスト⑥ P.114・115

- 1** ① 1 ア 2 ア 3 イ
 4 ア 5 イ

考え方 ① 1 give には to を使う。
 2 補語になるのは形容詞。「彼女の声は今朝とても奇妙に聞こえました」
 3 受動態の否定文。
 4 受動態の疑問文。
 5 yesterday があるから過去の文。

- 2** ① 1 **急ぎなさい、さもないと(その)バスに乗り遅れますよ。**
 2 **長い手紙がヘレンによって彼に書かれるでしょう。**

考え方 ① 1 命令文のあとの or は「さもないと」。
 2 Helen will write a long letter to him. を受動態にしたもの。

- 3** ① 1 **Be kind** 2 **for me**
 3 **long, take** 4 **isn't sold**
 5 **were found**

- 4** ① 1 **Tom told an interesting story to me.**

- 2 He will buy a new hat for her.
 3 When was the tall tower built?
 4 Everyone loves this song.

考え方 ① 1 tell は to を使う動詞。
 2 buy は for を使う動詞。
 3 下線部は時を表しているの
 で、When で始まる受動態の疑問文にする。
 4 「この歌はみんなに愛されています」
 →「みんながこの歌を愛しています」

- 5** ① 1 Will you lend me your computer?
 2 Math is not taught by Mr. Yamada.

考え方 ① 1 for が不要。
 2 teaching が不要。受動態の文。

- 6** ① 1 Who taught you English? / Who taught English to you?
 2 English is not [isn't] used in the [that] country. Spanish is used there.

考え方 ① 1 taught は teach の過去(分詞)形。
 teach には to を使う。
 2 第1文は受動態の否定文になる。

セクション **11** -1 代名詞・名詞・数量形容詞・副詞①

▶▶ ポイント確認ドリル P.117

- 1** ① (1) myself (2) our
 (3) himself (4) herself (5) yours
 (6) themselves (7) itself

考え方 ① 左から順に、主格—所有格—目的格—所有代名詞(～のもの)—再帰代名詞(～自身)になっている。

- 2** ① (1) me (2) myself
 (3) one (4) ones

考え方 ① (2) 強調用法の再帰代名詞。
 (3) a があるので単数になる。
 (4) a がないので複数になる。

- 3** ① (1) Did you enjoy yourself at the party?
 (2) I didn't read any of his books.

考え方 ① (1) enjoy oneself で「楽しむ」の意味。
 (2) 形容詞の any と同じように、否定文では「1つも[ひとりも]～ない」の意味。

P.118・119

- 1** ① (1) know (2) yourself

- (3) ones (4) its

考え方 ① (1) 主語は3人称・複数。
 (2) 主語の You を複数と考えると、yourselfs としてもよい。
 (3) these が複数を表すので ones に。
 (4) it's は it is の短縮形で、its は it の所有格。

- 2** ① (1) ① 私は昨日自分のカメラをなくしてしまいました。私に1台貸していただけますか。② 私は新しいカメラを買いました。それをあなたに貸してあげましょう。

(2) ① 私は部屋の中の少女の何人かを知っていました。② 私は部屋の中の少女のどれも知りませんでした。

考え方 ① (1) ① one は不定代名詞。a camera に置きかえられる。特定のカメラを指しているわけではない。② it は私が買った新しいカメラを指している。
 (2) ① some が不定代名詞。肯定文では「何人か、いくつか」の意。② any が不定代名詞。否定文で「だれも(～ない)」。

- 3** ① (1) myself (2) nothing
 (3) one (4) themselves

考え方 ① (1) 「あなたは鏡で何を見ているのですか」—「自分(自身の姿)を見えています」
 (2) 「その男の人について何か知っていますか」—「いいえ。私は彼について何も知りません」 anything, nothing が不定代名詞。
 (3) 「この青いシャツはすてきですね。どう思いますか」—「そうですね、あの赤いのはもっといいですよ」
 (4) 「彼らはみなパーティーで楽しみましたか」—「はい、とても。彼らは素晴らしい時を過ごしました」 enjoy oneself で「楽しむ」の意味。

- 4** ① (1) to (2) None (3) Some
 (4) by (5) Each

考え方 ① (1) say to oneself で「心の中で思う」。
 (2) 「だれも～ない」を1語の不定代名詞で表すと none。人だけでなく物にも使うことができる。
 (3) some が不定代名詞。

- (4) by oneself で「ひとりで」= alone.
 (5) each は形容詞としての用法のほか、この文のように不定代名詞としても使える。= Each boy has his guitar. (←この文の Each は形容詞)

5 答 (1) All of them looked
 (2) you do it yourself

考え方 (1) 「彼らの全員が幸せそうでした」 all が不定代名詞。
 (2) 「あなたは自分でそれをしたのですか」

6 答 (1) I lost my pen yesterday. I must[have to] buy one.
 (2) Tom solved the problem (for, by) himself.

考え方 (1) one は a pen のこと。
 (2) for[by] oneself で「ひとりで、独力で」の意味だが、for, by はこの文ではなくともよい。

セクション **11-2** 代名詞・名詞・数量形容詞・副詞②

▶▶ ポイント確認ドリル P.121

1 答 (1) A (2) B (3) B
 (4) A (5) A (6) B (7) A
 (8) B (9) B (10) A

2 答 (1) teeth (2) women
 (3) knives (4) children (5) sheep
 (6) feet (7) men (8) fish

考え方 (1) いずれも不規則な変化をするもの。sheep, fish は単数と複数が同じ形。

3 答 (1) A (2) B (3) B
 (4) A (5) A (6) B

考え方 (1) 「私のベッドはかたい。あなたのはやわらかい」
 (2) 「彼はテストのために一生けんめい勉強しました」
 (3) 「私は彼の絵がとても好きです」
 (4) 「6月にはたくさんの雨が降ります」
 (5) 「彼はすぐに元気になるでしょう」
 (6) 「あなたは上手に英語が話せますか」

P.122・123

1 答 (1) paper (2) shoes (3) water
 (4) coffee

考え方 (1) paper には piece を使うこともある。

- (2) 「一匙さじのくつ」の意。
 (3) water や milk には glass を使う。
 (4) coffee や tea には cup を使う。

2 答 (1) ① 空に星がいくつかあります。
 ② 空に星がほとんどありません。
 (2) ① コップに少し牛乳があります。
 ② コップに牛乳はほとんどありません。

考え方 (1) (2) a があると「少しある」、ないと「ほとんどない」の意味になる。

3 答 (1) few (2) much
 (3) Men, women (4) either

考え方 (1) day が数えられる名詞なので few。
 (2) salt も sugar も数えられない名詞。
 (3) man, woman の複数形はそれぞれ men, women になる。
 (4) 否定文の「～も(ない)」は either。

4 答 (1) drank two glasses of milk
 (2) is a lot of milk in the bottle
 (3) are many churches in my town
 (4) always goes to church on Sunday

考え方 (1) glass が不要。
 (2) milks が不要。
 (3) much が不要。
 (4) many が不要。頻度の副詞 always は一般動詞 goes の前に置く。

5 答 (1) Won't[Will] you have[drink] a cup of tea?
 (2) There were few girls at the party.
 (3) This shirt is too small for me.
 (4) I have a lot of[lots of / much / plenty of] time to do it[that].

考え方 (1) How about a cup of tea? でもよい。
 (3) 形容詞や副詞の前の too は「～すぎる、あまりに～」の意。
 (4) much の代わりに many は使えない。

セクション **12-1** 接続詞・前置詞①

▶▶ ポイント確認ドリル P.125

1 答 (1) and (2) but (3) but
 (4) and (5) but

考え方 (1) 「トムとケートは」
 (2) 「でも彼女は」 (3) 「でも本当だ」
 (4) 「白い犬と黒い犬」

(5) 「でも乗れなかった」

- 2** 答 (1) so (2) or (3) or
(4) so (5) or

考え方 ① (1) 「それで早く寝た」
(2) 「リンゴかオレンジか」
(3) 「それともいっしょにいるか」
(4) 「それで乗り遅れなかった」
(5) 「私が電話しましょうか、それとも私に電話してくれますか」

- 3** 答 (1) Hurry up, or you will be late.
(2) Hurry up, and you will be in time.

考え方 ① (1) 「急ぎなさい、さもないと遅刻しますよ」と考える。
(2) 「急ぎなさい、そうすれば間に合いますよ」と考える。

P.126・127

- 1** 答 (1) and (2) or (3) but
(4) so

考え方 ① (1) この and は時間の順序を表す。

- 2** 答 (1) すぐに起きなさい、さもないと学校に遅れますよ。
(2) もっと一生けんめい勉強しなさい、そうすれば試験に合格するでしょう。
(3) とても寒かったが、彼はオーバーを着ないで外出しました。
(4) 私は頭痛がして、それで学校へ行きました。

考え方 ① (3) It は寒暖を表す特別用法の It。
(4) 「頭痛がしたので行かなかった」も可。

- 3** 答 (1) and (2) so (3) but
(4) or

- 4** 答 (1) オ (2) イ (3) エ
(4) ア (5) ウ

考え方 ① (5) 疑問文が or の前後にあることに注意。are we のあとに wrong を補う。

- 5** 答 (1) dog and two small dogs in the garden
(2) and I'll give you some cookies

考え方 ① (1) one があるので dog。このあとに and で two small dogs を続ける。
(2) 命令文のあとの and になる。

- 6** 答 (1) Tom is not[isn't] tall, but he is[he's] very good at (playing)

basketball.

- (2) The store[shop] opens at ten (o'clock), and closes at eight (o'clock).

考え方 ① (1) but 以下は、but he plays basketball very well でもよい。

セクション **12-2** 接続詞・前置詞②

▶▶ ポイント確認ドリル P.129

- 1** 答 (1) when (2) that
(3) that (4) when (5) that

考え方 ① (1) 「ひまなときに」
(2)・(3)・(5) that 以下が直前の動詞の目的語になる。
(4) 「子どものときに」

- 2** 答 (1) because (2) if
(3) because (4) if (5) because

考え方 ① (1) 「たくさんあったので」
(2) 「もし必要ならば」
(3) 「重病だったので」
(4) 「もし明日雨ならば」
(5) 「疲れていたので」

- 3** 答 (1) Call me when you get to the station.

- (2) I didn't know that she was sick.

考え方 ① (1) 「いつ？」と時をたずねる疑問詞とは異なるので、when のあとはふつうの語順になる。
(2) that 以下の動詞が was でも、日本語ではふつう「だった」とはならないことにも注意。

P.130・131

- 1** 答 (1) that (2) If (3) When
(4) because

考え方 ① (1) 「彼はその仕事を受けると私は思います」
(2) 「明日雨が降れば試合はありません」
(3) 「ジェーンが帰宅したとき、私は夕食を食べていました」
(4) 「天候がひどかったので私は行きませんでした」

- 2** 答 (1) ヘレンは親切なのでみんなに愛されています。

- (2) もし忙しいなら、あなたを手伝いましょう。

(3) 彼女はきっとパーティーに来ると(私は) 思います。

(4) 私たちがそこに着いたときはすっかり暗 くなっていました。

3 答 (1) When (2) because

(3) If (4) that

4 答 (1) エ (2) ア (3) オ

(4) イ (5) ウ

考え方 ① (1) ifに続く文の中は、未来のことも 現在形になっていることに注意する。

5 答 (1) sick because he ate too much

(2) help you if you ask him

考え方 ① (2) He will ask ... とするとあとが続か なくなる。

6 答 (1) I know (that) he is[he's] honest.

(2) When he was a child, he was not [wasn't] happy. / He was not [wasn't] happy when he was a child.

考え方 ① (2) when ~をあとに置く場合は、その 前にふつうコンマは打たない。

セクション 12-3 接続詞・前置詞 ③

▶▶ ポイント確認ドリル

P.133

1 答 (1) on (2) at (3) in

(4) in (5) on

考え方 ① (1) 曜日の前。(2) 時刻の前。
(3) 季節の前。(4) morningの前。
(5) 日にちの前。

2 答 (1) by (2) on (3) near

(4) in (5) about

考え方 ① (5) 数字の前の about は「約」の意味だ が、このときの about は副詞になる。

3 答 (1) The meeting starts at eight on Saturday.

(2) He came here late at night.

P.134・135

1 答 (1) in (2) at (3) on

(4) bike

考え方 ① (1) 月の前には in。
(2) at night で「夜に」。
(3) 特定の morning には on。
(4) 交通手段の by のあとは無冠詞。

2 答 (1) after (2) Without

(3) with (4) by car

考え方 ① (1) 「水曜日は木曜日の前にくる」→「木 曜日は水曜日のあとにくる」

(2) 「辞書なしではこの本は読めません」 「~なしで」は without。

(3) 「~を持って」は with。

(4) 「~へ運転して行く」→「~へ車で行く」。

3 答 (1) on (2) under (3) over

(4) on (5) in

考え方 ① (1) 「壁に絵がかかっています」

(2) 「テーブルの下に犬がいます」

(3) 「テーブルの上方に電灯があります」

(4) 「ピアノの上に時計があります」

(5) 「花瓶の中に花が2本あります」

4 答 (1) 私の家で会って、そこから映画を見 に行きましょうか。

(2) その船は明日の5時までには着くでしょう。

(3) 私は明日の10時までここにいます。

(4) そのかわいい[小さい]女の子は両親の間 に(はさまれて)すわっていました。

(5) バターは牛乳から作られます。

考え方 ① (2)・(3) by と until の区別は重要なので しっかりと確認しておこう。

(5) from は「~から」の意味。

5 答 (1) a party on Friday evening

(2) waited for Kate until ten

考え方 ① (2) wait for ~で「~を待つ」。

6 答 (1) I bought[got] this toy at Umeda in Osaka.

(2) Write your name with a pen[in pen].

考え方 ① (2) with も多くの意味があるので、辞 書で調べておこう。

セクション 12-4 接続詞・前置詞 ④

▶▶ ポイント確認ドリル

P.137

1 答 (1) and (2) to (3) on

(4) on

考え方 ① (1) 「私は英語と数学の両方とも好きで す」 both ~ and ... 「~と…の両方とも」

(2) 「私たちは全員音楽を聞きました」 listen to ~ 「~を聞く」

(3) 「健は昨日その電車に乗りました」 get on ~ 「~に乗る」

(4) 「私は学校へ行く途中で彼女を見かけました」 on the way (to ~) 「(~へ行く)途中で」 the の代わりに所有格の代名詞を使って on his[her] way のように言うこともある。

2 答 (1) and (2) at (3) for

考え方① (1) 「~と…の間に[の]」は between ~ and …。

(2) 「~に着く」は arrive at ~。空港や駅など比較的狭いものには at を、都市など比較的広いものには in を使う。

(3) 「~に遅れる」は be late for ~。

3 答 (1) London is famous for its fogs.

(2) At first I didn't like swimming.

考え方① (1) be famous for ~で「~で有名である」。

(2) at first で「最初は」の意味。「最初は~だったが、今はそうではない」ということを暗に示す言い方になる。

P.138・139

1 答 (1) or (2) like (3) from (4) of

考え方① (1) 「私はコーヒーか紅茶のどちらかを飲みたい」 either ~ or …の文に。

(2) 「絵美は母親によく似ています」 look like ~の文に。

(3) 「あなたの考えは私のとは違います」 be different from ~の文に。

(4) 「雪のために彼はここに来ることができませんでした」 because of ~の文に。

2 答 (1) to (2) of

考え方① (1) 「~に着く」は arrive at ~か get to ~で表すことができる。

(2) 「~の世話をする」は look after ~か take care of ~で表すことができる。

3 答 (1) absent from (2) on time

(3) Get off (4) famous for

(5) good at

考え方① (1) 「~を休む」は be absent from ~。

(2) 「時間通りに」は on time。

(3) 「~を降りる」は get off ~。

(4) 「~で有名だ」は be famous for ~。

(5) 「~が得意だ」は be good at ~。

4 答 (1) だれかそこでバスに乗りましたか。

(2) 私は最初彼とそのパーティーに行きたくありませんでした。

(3) 私が家に着くとすぐに雨が降り始めました。

(4) 私は長い間ここにいたくありません。

(5) 話すのをやめて私の言うことを聞きなさい。

考え方① (1) get on ~で「~に乗る」。

(2) at first で「最初は」。

(3) as soon as ~で「~するとすぐに」。

(4) for a long time で「長い間」。同じ意味で for long も用いられるが、疑問文や否定文に好んで使われる。

(5) listen to ~で「~を聞く」。~に人がくるときは「~の話聞く」の意味になることが多い。

5 答 (1) speak both English and French[French and English]

(2) Thanks to your help I

考え方① (1) both ~ and …を使う。

(2) thanks to ~を使う。

6 答 (1) Did you meet her for the first time?

(2) He is [He's] fond of playing the piano.

考え方① (1) 「初めて」は for the first time。初対面の人には see ではなく meet を使うことが多い。

(2) fond を使う指定があるので、「~が好きだ」は be fond of ~を使う。前置詞のあとに続く動詞は~ing 形の動名詞にする。

セクション 13 いろいろな疑問詞

▶▶ ポイント確認ドリル

P.141

1 答 (1) What (2) Who (3) Where

考え方① (1) 「机の上にあるあれは何ですか」— 「消しゴムです」

(2) 「向こうにいるあの女性はだれですか」— 「私たちの新しい英語教師の佐野先生です」

(3) 「あなたはどこに住んでいますか」— 「私は福岡に住んでいます」

- 2** 答 (1) Why (2) How old
(3) Which book

考え方 ① (1) 「なぜ」と理由をたずねるには Why を使う。
(2) 「何歳」と年齢をたずねるには How old を使う。
(3) 「どの～, どちらの～」とたずねるには Which ～を使う。

- 3** 答 (1) How much is this dictionary?
(2) How long is that bridge?

考え方 ① (1) How much のあとは疑問文の語順になる。
(2) 同じように How long のあとは疑問文の語順になる。

P.142・143

- 1** 答 (1) エ (2) イ (3) オ
(4) ア (5) ウ

考え方 ① 答えの文の意味は次の通り。
(1) エ「私は黄色が好きです」
(2) イ「彼はここに自転車で来ました」
(3) オ「私はそれを今朝見ました」
(4) ア「それらは私のものです」
(5) ウ「私が洗いました」

- 2** 答 (1) How many (2) How far
(3) How[What] about (4) How old
(5) Whose pen (6) Who cooks[makes]
(7) What song

考え方 ① (1) 数をたずねるのは How many。このあとには名詞の複数形を続ける。
(2) 距離をたずねるのは How far。
(3) 「～はどうですか」と相手の意見などをたずねるのは How[What] about ～?。
(4) How old は人の年齢に限らず、樹齢や(創立)～年などにも使われる。
(5) 所有者をたずねるのは Whose。
(6) 「だれが」とたずねるのは Who。Who は 3 人称・単数扱いにするので、現在形の文では動詞に -s がつく。
(7) 「何の～」には What ～を使う。

- 3** 答 (1) What did Kate eat for breakfast this morning?
(2) How many people came to the party?
(3) Why did he go to America?

- (4) How did Amy solve the problem?

考え方 ① (1) 「何を」の What を文頭に置いて過去の疑問文を続ける。
(2) 数をたずねるのは How many。people は形は単数形でも複数扱いにするので、peoples とはしない。また、この文では How many people をそのまま主語として使っている。
(3) to 以下は目的を表す副詞的用法の不定詞なので、「なぜ」Why で始まる疑問文にする。
(4) in this way は「このように(して)」の意味なので、「どのようにして」と方法をたずねる How を使う。

- 4** 答 (1) How long are you going to stay
(2) and where did you see

考え方 ① (1) How long のあとに be going to の疑問文を続ける。
(2) When and where と疑問詞が 2 つ続く形になる。

- 5** 答 (1) How old was your grandmother last year?
(2) How long is this river?

考え方 ① (1) be 動詞の過去形 was を使う。
(2) 長さをたずねるのは How long。

セクション **14**-1 現在完了①

▶▶ ポイント確認ドリル

P.145

- 1** 答 (1) used (2) known
(3) had (4) read (5) been
(6) studied (7) eaten (8) heard
(9) seen (10) gone (11) written
(12) taught

考え方 ① (4) 過去・過去分詞の発音は [red]。

- 2** 答 (1) for (2) since (3) has
(4) times

考え方 ① (1) many years は期間を表すので for。
(2) last year は過去の開始時点を表すので since。
(3) 主語が 3 人称・単数で has。
(4) many は複数を表すので times。

- 3** 答 (1) I have visited the city twice.
(2) I have been busy since yesterday.

考え方 ① (1) twice などの回数を表す語句は文末。

P.146・147

- 1** **答** (1) known (2) read
(3) used (4) visited
(5) written (6) gone

考え方 ① (1) 「私は彼を長年知っています」
(2) 「私はその本を何回も読んだことがあります」
(3) 「彼らはその車を長い間使っています」
(4) 「健はたびたびニューヨークを訪れたことがあります」
(5) 「私はちょうどその手紙を書いたところです」
(6) 「父は中国へ行ってしまいました」

- 2** **答** (1) クリスマス以来とても穏やかな気候が続いています。
(2) 私の父は以前仕事でドイツに行ったことがあります。
(3) 私は腕時計を買いましたが、それをなくしてしまいました。
(4) 私はその男の人に以前どこかで会った[見た]ことがあります。

- 3** **答** (1) been, since (2) has, for
(3) gone

- 4** **答** (1) It has been sunny for five days.
(2) He has wanted a new glove since last month.
(3) I have [I've] heard about global warming many times.
(4) I have [I've] just finished doing my homework.

考え方 ① (1) 「5日間ずっといい天気です」
(2) 「彼は先月から新しいグローブをほしがっています」
(3) 「私は地球温暖化について何回も聞いたことがあります」
(4) 「私はちょうど宿題をし終えたところです」

- 5** **答** (1) has stayed in Tokyo for two
(2) has already got dark

- 6** **答** (1) Emi has been absent from school since yesterday.
(2) I have [I've] been to [visited]

London twice.

考え方 ① (2) 「1回」は once, 「2回」は twice, 3回以上には ~ times を使う。



セクション **14-2** 現在完了②

▶▶ ポイント確認ドリル

P.149

- 1** **答** (1) just (2) never (3) yet
(4) ever (5) yet (6) once

考え方 ① (6) 「たった1回だけ」は only once.

- 2** **答** (1) あなたは今までに[これまで]イングランドに行ったことがありますか。—— はい、あります。
(2) 彼らは昨日からお互いに口をきいていません。

考え方 ① (2) 継続の否定文は「～ない」状態が続いていることを表すことに注意。

- 3** **答** (1) I have never heard the song.
(2) Have you been busy this week?

P.150・151

- 1** **答** (1) ウ (2) イ (3) イ

考え方 ① (1) 「あなたはまだ新聞を読んでいるのですか」—「いいえ。もう読んでしまいました」
(2) 「京都へ行くのは今回が初めてですか」—「はい。私は京都へこれまで一度も行ったことはありません」
(3) 「あなたはアメリカのどこの出身ですか」—「ニューヨークです。あなたはそこへ行ったことがありますか」—「いいえ、まだありません。来年行きたいと思っています」

- 2** **答** (1) ever taught
(2) haven't visited

考え方 ① (1) 「経験」の疑問文で表す。
(2) 「長い間京都を訪れていません」という日本語に置きかえてみる。

- 3** **答** (1) long (2) did (3) Where

考え方 ① (1) 「あなたはここ東京にどれくらいの

間[いつから]いますか—「先週からです」
 (2) 「あなたはいつどこでその絵を見た
 のですか」—「先月あの美術館です」
 現在完了の文なら seen になる。
 (3) 「あなたは今朝からずっとどこに
 いたのですか」—「自分の部屋のここにいま
 した」

- 4** ④ (1) I have not [haven't] washed
 the car yet.
 (2) Have you ever eaten sashimi?
 (3) He has never heard about global
 warming.
 (4) How many times [How often] has
 Tom visited Nara?

考え方 ① (1) I have not yet washed ... とする
 こともあるが、yet は文末と覚えておこ
 う。
 (4) 回数をたずねるのは How many
 times か How often.

- 5** ④ (1) you cleaned the room yet
 (2) you ever visited the museum

考え方 ① (1) 「あなたはもう部屋をそうじしてし
 まいましたか」
 (2) 「あなたは今までにその博物館〔美術
 館〕を訪れたことがありますか」

- 6** ④ (1) I have not [haven't] visited my
 uncle in Sendai yet.
 (2) How long have you known him?
 — (I have [I've] known him) For two
 years.

考え方 ① (1) 「完了」の否定文になる。
 (2) Since two years ago. とも言うが、
 for ~. のほうがふつう。

まとめのテスト⑦ P.152・153

- 1** ④ 1 ア 2 イ 3 ア
 4 ア 5 イ

考え方 ① 1 rain は数えられない名詞。
 2 「あなた自身を知る」が主語。

- 3 日にちの前は on。
 4 主語が I で have。
 5 see の過去分詞は seen。

- 2** ④ 1 私の父は仕事でロンドンへ行ってし
 まいました(→今ここにいません)。
 2 私の父はロンドンに3回行ったことがあ
 ります。

考え方 ① 1 「結果」の用法。 2 「経験」の用法。

- 3** ④ 1 glass of 2 few
 3 None 4 used, for
 5 been, since

考え方 ① 1 水や牛乳には glass を使う。
 2 数えられる「ほとんど~ない」は
 few。
 3 「だれも〔何も〕~ない」は none。
 4 期間を表すのは for。
 5 開始時点を表すのは since。

- 4** ④ 1 and 2 myself
 3 If, don't 4 has been, since
 5 many times

考え方 ① 1 命令文に続く and。
 2 oneself は主語が I なので myself。
 3 「このコートを着ていないと、かぜ
 をひきますよ」の意味にする。
 4 「継続」の用法。
 5 回数をたずねる言い方になる。

- 5** ④ 1 I know that he will come here
 on Sunday morning.
 2 Have you ever written a letter in
 French?

考え方 ① 1 in が不要。 2 has が不要。

- 6** ④ 1 There was a little snow here
 yesterday, but there is [there's] little
 (snow) today.
 2 Have you ever played shogi with
 Mr. Yamada? — No, I have not [haven't].
 / No, I never have.

考え方 ① 1 snow は数えられない名詞。
 2 「経験」の用法。

- 1 ① 1 イ 2 ア 3 ア
4 イ 5 イ

考え方① 1 money は数えられない名詞。
2 「～まで(ずっと)」は until。
3・4 期間は for, 開始時点は since。
5 否定文の「～も」は either。

- 2 ① 1 110歳まで生きる人はまずほとんど
いません[ごく少数です]。
2 あまりに寒かったので、私たちは外に長
くはいませんでした。

考え方① 1 few に a がついていないことに注意。
2 この文の long は副詞。形容詞や副
詞の前の too は「あまりにも～」。

- 3 ① 1 by, or by 2 Have, ever
3 has already 4 nothing about
5 by yourself

考え方① 1 交通手段を表すのは by。
2 「経験」の疑問文。ever の位置に注意。
3 already の位置に注意。
4 目的語になる不定代名詞 nothing。
5 「ひとりで」= by oneself

- 4 ① 1 Because it was raining, I stayed
home. / I stayed home because it
was raining.

- 2 Come here on Sunday morning.
3 How long has Mr. Suzuki taught
English?
4 How many times[How often] has
Ken climbed Mt. Asama?

考え方① 1 so は「それで、だから」の意味。
2 in が on になる。
3 期間をたずねる疑問文に。
4 回数をたずねる疑問文に。

- 5 ① 1 Give him a cup of coffee when
he comes back.
2 My uncle has lived in Yamagata
for fifteen years.

考え方① 1 piece が不要。 2 since が不要。

- 6 ① 1 If you want to see[meet] her,
you must come here by six (o'clock).
/ You must come here by six (o'clock)
if you want to see[meet] her.
2 Have you finished your homework
yet? — No, not yet. / No, I have not
[haven't].

考え方① 1 「～までに」という期限は by。 must
の代わりに have to でもよい。
2 「完了」の疑問文の「もう」には yet を
文末に置いて使う。

1 答 1 × 2 △ 3 ○

考え方① 1 [i:]と[e]と[ei]。 2 [ʌ]と[a]。
3 [au]。

2 答 1 yourself 2 made
3 fifth 4 feet 5 little
6 better

考え方① 1 再帰代名詞に。 2 過去形に。
3 序数に。 4 複数形に。
5 数えられない名詞につく数量形容詞に。
6 比較級に。

3 答 1 going to 2 was listening
3 most beautiful 4 There are
5 glass of 6 Don't be

考え方① 1 be going to の文。→ 15
2 過去進行形。→ 5
3 most を使った最上級。→ 9
6 be の否定の命令文。→ 27

4 答 1 and 2 as[so], as

考え方① 1 命令文のあとの and。→ 37・27
2 as ~ as の否定文に。→ 6

5 答 1 Tom will have to stay there.
2 English and French are spoken in
Canada.
3 He enjoyed listening to the music.

考え方① 1 have to の未来形。→ 16・20
2 by them は省く。→ 30
3 目的語になる動名詞。→ 25

6 答 1 Will you give me something to
eat?
2 I will tell you an interesting story.

考え方① 1 eating が不要。→ 18・23
2 for が不要。→ 29

7 答 1 I went to the station to meet
my uncle.
2 Tom will be able to swim next year.

考え方① 1 目的を表す不定詞。→ 22
2 will can とはできない。→ 20



1 答 1 △ 2 × 3 ○

考え方 ① 1 [ʌ]と[au]。 2 [id]と[d]と[t]。
3 [ai]。

2 答 1 meet 2 written
3 theirs 4 could 5 happiest
6 late

考え方 ① 1 同じ発音の語。 2 過去分詞に。
3 所有代名詞に。 4 過去形に。
5 最上級に。 6 反意語に。

3 答 1 Shall I 2 better than
3 look happy 4 When, was
5 had to 6 to read

考え方 ① 1 申し出る言い方。→ 18
2 比較級。→ 11
3 補語が形容詞の文。→ 28
4 接続詞と過去進行形。→ 38・5
5 形容詞的用法の不定詞。→ 23

4 答 1 must not 2 to hear

考え方 ① 1 禁止を表す must not。→ 17

2 原因を表す不定詞。→ 22

5 答 1 There were two old dogs in the house.

2 Mt. Fuji is the highest mountain in Japan. / Mt. Fuji is the highest of all the mountains in Japan.

3 Bob broke the windows.

考え方 ① 1 複数を表す形に。→ 3・13
2 「日本でいちばん高い山 / 日本のすべての山でいちばん高い」とする。→ 8
3 過去の文になる。→ 30

6 答 1 What were you doing then?
2 Will you show me the pictures?

考え方 ① 1 are が不要。→ 5
2 shall が不要。→ 18・29

7 答 1 This is the most important problem[question] of all.

2 You don't have[need] to go to the party.

考え方 ① 1 most を使った最上級の文。→ 9
2 don't have to ~の文。→ 20



2102R1